

**(仮称)青野木産業廃棄物最終処分場増設事業(第 5 期)に係る
環境影響評価準備書に対する指摘事項の対応について**

令和 8 年 7 月

仙台環境開発株式会社

目 次

1. 事業計画・全般的事項	1
2. 大気質	3
3. 悪臭	4
4. 水質	6
5. 地形・地質（土地の安定性）	7
6. 植物・動物・生態系	10
7. 景観	13
8. 温室効果ガス	14
準備書から変更する点	巻末資料①～⑤
その他 準備書から変更する点	巻末資料⑥～⑧

1. 事業計画・全般的事項

1) 第1回審査会（令和8年4月13日）での指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
1	浸出水処理施設は、第2期と第3期にそれぞれに施設があり、現状は両施設とも稼働しているのか？	両施設とも稼働しています。	準備書 p.1-33 ～41
2	浸出水集排水施設計画図には第3期の浸出水処理施設が描かれていないが、どこにあるのか？	図の中央より左上、既設浸出水調整槽の隣の紫色の建物です。	準備書 p.1-33 巻末資料 ①
3	第2期と第3期の浸出水処理施設は別々の浸出水を処理しているのか？	両施設は配管で繋げて全体を処理しています。	—
4	第3期の浸出水処理施設にはホウ素吸着塔があり、第2期には無い。ホウ素が高い場合でも第3期ですべて処理しているとは考えられないが、どのように運用しているのか？	各調整槽の水質を測定し、ホウ素濃度が低い場合はホウ素吸着塔の無い第2期へ回し、ホウ素濃度が高い場合はホウ素吸着塔のある第3期へ回す、という運用をしています。	—
5	新たな浸出水処理施設が必要な場合は、ホウ素吸着塔を設置するのか？	第5期処分場運用開始後にホウ素濃度が上昇した場合は、第2期施設へのホウ素吸着塔の設置を検討します。	—
6	第5期処分場完成後はどのように排水するのか？	排水は雨水と汚水に大別されます。雨水は、U字溝を伝って防災調整池流域図の紫色の防災調整池に入り、河川へ放流します。汚水はポンプアップにより浸出水調整槽に入り、浸出水処理施設で処理した後、河川へ放流します。	準備書 p.1-27
7	排水の水質のモニタリングは実施するのか？	雨水のモニタリングは考えていません。汚水を処理した排水はモニタリングします。	—

2) 第1回審査会後の指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
－	(なし)	－	－

2. 大気質

1) 第1回審査会（令和8年4月13日）での指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
1	大気質の数値予測についてはパフ式及びプルーム式を用いる拡散モデルで問題無いと考えられる。なお、前提となる気象条件について、冬季・夏季それぞれ7日間の観測結果を用いて風配を作成されているが、根拠とするにはサンプルが少ない。風環境の代表性をどのように考えているのか？	気象条件は現地調査結果を使わず、令和5年の仙台管区気象台のデータを用いました。異常年検定も行い準備書に示しています。	準備書 p.8-1-7 ～15
2	現地調査結果と気象観測所の観測値について、整合性を確認したか？	現地調査の際にも、当日の仙台管区気象台のデータと整合性を確認しています。	—

2) 第1回審査会後の指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
—	(なし)	—	—

3. 悪臭

1) 第1回審査会（令和8年4月13日）での指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
1	事業予定地における最多風向は北西と示されているが、悪臭の現地調査における気象測定結果では、評価日に北西の風が含まれていない。現地調査はどのような前提で実施されたのか。	調査は風が弱く、発生源付近に臭いが溜まりやすい状況を狙って、評価地点である敷地境界で実施しました。 無風時に発生源付近で臭気指数の値が小さければ、有風時は風で臭いが拡散されることから、臭気指数の値が小さくなるという認識です。 事後調査において、北西～西となる日を狙って調査を実施することを検討します。	準備書 p.8.1-7～8 p.8.4-1～6
2	悪臭の発生源とその対策をどのように考えているのか。	発生源はガス抜き管のガスと想定しています。対策は消臭剤の散布と、消臭装置の設置を実施します。また埋め立ての際、ガス抜き管の周りに分解しないものを多く埋めるよう工夫しています。運用中の既設処分場についても同様の対策を実施しています。	準備書 p.8.4-7～8
3	現地調査結果では特定悪臭物質が基準値未満である一方、調査地点 No.A と No.3 では臭気指数が基準値超過しており、理由として草地の影響を受けたとあるが、他の地点の環境は草地ではないということか？	No.2 と No.4 は既設処分場の敷地境界で道路に近い環境です。No.1 は覆土置き場で、裸地が半分、水田が半分という環境です。	準備書 p.8.4-1～6

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
4	臭気指数はパネラーの感覚で評価する方法で、草の匂いがあったということで間違いないと考えられるが、草地の影響が無い時期にも測定を実施していたきたい。	処分場の微生物分解が活発になり、悪臭の影響が大きいと考えられる夏季に現地調査を行いました。事後調査では、草地の影響が少ない冬季も調査を行います。	—

2) 第1回審査会後の指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
—	(なし)	—	

4. 水質

1) 第1回審査会（令和8年4月13日）での指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
1	調査地点 No.1 について、浸出水処理施設からの放流水の BOD は問題が無く、放流先から暗渠に入り暗渠から出た後に BOD が上昇するという説明があったが、流入状況について合理的な説明はできるか？	暗渠より上流の敷地境界において BOD を測定しており、No.1 に比べて値が低いことを確認しています。 なお、暗渠は私有地の中を通っており、私有地内における流入状況の詳細は不明です。	準備書 p.8-5-4 ~14
2	No.1 地点の上流である敷地境界においても調査を行っている場合は、その結果を追記してはどうか。	第2期及び第3期の浸出水処理施設からの放流水の BOD について、現地調査を実施した時期における調査結果を追記します。	巻末資料 ②
3	図表等においては、生物化学的酸素要求量に「(BOD)」と表記いただきたい。	表記します。	準備書 p.8-5-6 ~12

2) 第1回審査会後の指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
—	(なし)	—	

5. 地形・地質（土地の安定性）

1) 第1回審査会（令和8年4月13日）での指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
—	（なし）	—	

2) 第1回審査会後の指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
1	現地調査結果では、対象地点の風化凝灰岩の物性は「風化により粘土化しており軟質である」との記載がある。しかし、予測条件での風化凝灰岩の物性では、「風化し粘土化した」という割には、強い物性であるように設定されている。「安全側を考慮し」と述べられているが、どのような設定根拠か。	風化凝灰岩は No.1～3 の一部（層厚 0.70～2.40 m）に確認され、その中の一部に軟質な箇所が見られました。それでも N 値は 10～40（平均 N 値 26）を示しています。「軟質である」というのは、「堅固な凝灰岩に比べると軟質」という意味で、一般の粘性土に比べれば「硬い」です。 この層は全体的に固結～一部半固結状であるため、性状としては粘性土ではなく、「風化岩」と評価しました。よって物性値の算出には設計要領第二集に基づき、確認された N 値より算出し採用しています。「凝灰岩」に比べ約 1/3 程度の粘着力 c となっており、風化岩としての評価としては極端に強い物性ではなく妥当と考えます。 「安全側を考慮し」については、上部に確認された未固結堆積物（盛土・表土、洪積層粘性土）を粘性土は内部摩擦角 0、砂質土は粘着力 0 としたことを、「安全側を考慮し」と記述したものです。他の層については試験値および換算式を用いて算出しています。	準備書 p.8-7-7 ～15

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
2	安定計算モデル図内の安全率図では、すべり円弧端部が風化凝灰岩を通る形状となっており、この層の物性設定が土地の安定性に影響を及ぼすものを考えられるため、適切な説明や検討をいただきたい。	上述の No.1 の説明より、風化凝灰岩（平均 N 値 26）の物性値は妥当であると考えます。仮にこの層を粘性土として評価（$c=6 \cdot N$）した場合においても、現在の物性値と同等程度となり、大きく安定性に影響を及ぼすものではないと考えます。 ・ 道路橋示方書 （$c=6 \cdot N$）の場合 $c=6 \cdot 26$ $c=156$ （棄却） ・ 設計要領第二集 （$c=16.2 \cdot N^{0.606}$）の場合 $c=16.2 \cdot 26^{0.606}$ $c=116$ （採用） 上記、算出式のように厳しい値を採用しております。	準備書 p.8-7-12 ～32

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
3	切土、盛土法面ともに、「代表的な」検討断面を選定されているが、これらは最も安全率が低くなりそうな（すなわち地盤工学的に照査すべき）断面と対応しているか？	ご指摘の通り切土、盛土法面ともに最大負荷がかかる断面を採用して安定計算評価を行っております。本事業に係る方法書でのご審議(令和5年10月27日の審査会)において、同様のご指摘をいただき、複数断面での実施をしております。	準備書 p.8-11-14 ～25
4	安全率が1.0以上であっても、風化層などが存在するため、切土・盛土施工中に変状が無いか確認しながら進めるとともに、適切な説明や検討をお願いしたい。	過去の場合内工事においても同様の工事（切土・盛土）を行っているため、その施工履歴と、同様の工事における設計と施工での乖離の有無を確認します。 切土・盛土施工中の変状については、目視確認を行い法面崩壊等、予兆（湧水や亀裂）の有無の確認を行います。	—

6. 植物・動物・生態系

1) 第1回審査会（令和8年4月13日）での指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
1	第1期工事から比べて経年的な種の増減、特徴的な変化が分かれば教えていただきたい。	既設処分場増設時に産業廃棄物処理施設変更許可申請に伴い実施した生活環境影響調査書における自然環境影響調査について、「第3期調査（平成23年～平成24年）」及び「第4期調査（平成27年～平成28年）」で確認された種を含めて整理した資料を添付します。 図に示すとおり、各期で調査範囲が異なることから、確認種数及びその構成には調査面積の違いによる影響が含まれている可能性があります。 植物については、確認種に占める帰化植物の割合が、第3期及び第4期で約11%に対し、今回の第5期で約15%とやや高い値を示しており、外来種の関与が相対的に大きくなっている可能性があります。 哺乳類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫類については、調査面積の増加や調査方法・調査回数の違いにより、今回の第5期において確認種数が増えた可能性があります。 魚類・底生動物については、今回の第5期に広瀬川が調査範囲に含まれたことで、	巻末資料 ③

		河川中～上流域に見られる種が増えています。 過去の第 3 期・第 4 期及び今回の第 5 期の調査結果から、調査地における植物相及び動物相は一定の安定性を有していると考えられます。	
--	--	--	--

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
2	処分場周辺で観察会のような活動が行われているなどの情報を承知していれば教えていただきたい。	処分場周辺における観察会のような活動について聞いたことはありません。また、仙台市内で行われている観察会について調べてみましたが、処分場周辺で行われているものは確認できませんでした。	—

2) 第1回審査会後の指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
3	両生類が事業予定地内や隣接した場所で確認されている。「動物は移動ができるため影響が少ない」と結論づけられているが、リストに挙がっている両生類の通常時の移動距離は短いため、事業予定地内で確認した場合は事前に決めた場所に移動するなど、環境保全対策を立てることを要望する。	工事エリアや仮設沈砂池は巡視を行うことから、両生類を確認した場合は、工事が行われないう場所（卵塊の場合は、流れのない水辺）への移動を検討します。	準備書 p.8.9-139

7. 景観

1) 第1回審査会（令和8年4月13日）での指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
1	フォトモンタージュでは緑色の小山が描かれており、これは緑化を想定しているものと考えますが、こちらについてもう少し詳しい説明をいただきたい。	埋立完了後の盛土部には落葉広葉樹を主とした植樹を計画しています。既設処分場（第1期～第2期）における実施状況を追記します。	準備書 p.8-11-12 ～13 巻末資料 ④
2	樹種の選定の際には、周辺や景観に配慮いただきたい。	周辺の景観に配慮し、展葉期には緑色、落葉期には枝の灰色となるように落葉広葉樹を主とした植樹を考えています。	—

2) 第1回審査会後の指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
—	(なし)	—	—

8. 温室効果ガス

1) 第1回審査会（令和8年4月13日）での指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
1	環境影響要因別の予測を比較すると、埋め立てた廃棄物から発生するメタンによる影響が大きい結果となっている。準好気性の埋め立て手法を用いているとあるが、この埋立手法により、どの程度軽減できるか示すことはできないのか？	廃棄物の分解にともなう温室効果ガスの排出量は、本事業で計画している準好気性の埋め立て手法を用いた場合に 103,134 tCO ₂ /年と予測しており、嫌気性の埋め立て手法を用いた場合に 206,626 tCO ₂ /年と予測されます。準好気性の埋め立て手法を用いた場合は、嫌気性の埋め立て手法を用いた場合の約 50%まで温室効果ガスの排出量を軽減することができます。	準備書 p.8-13-5 巻末資料 ⑤

2) 第1回審査会後の指摘事項と回答・対応方針

No.	指摘事項	回答・対応方針	備考
—	(なし)	—	

準備書から変更する点

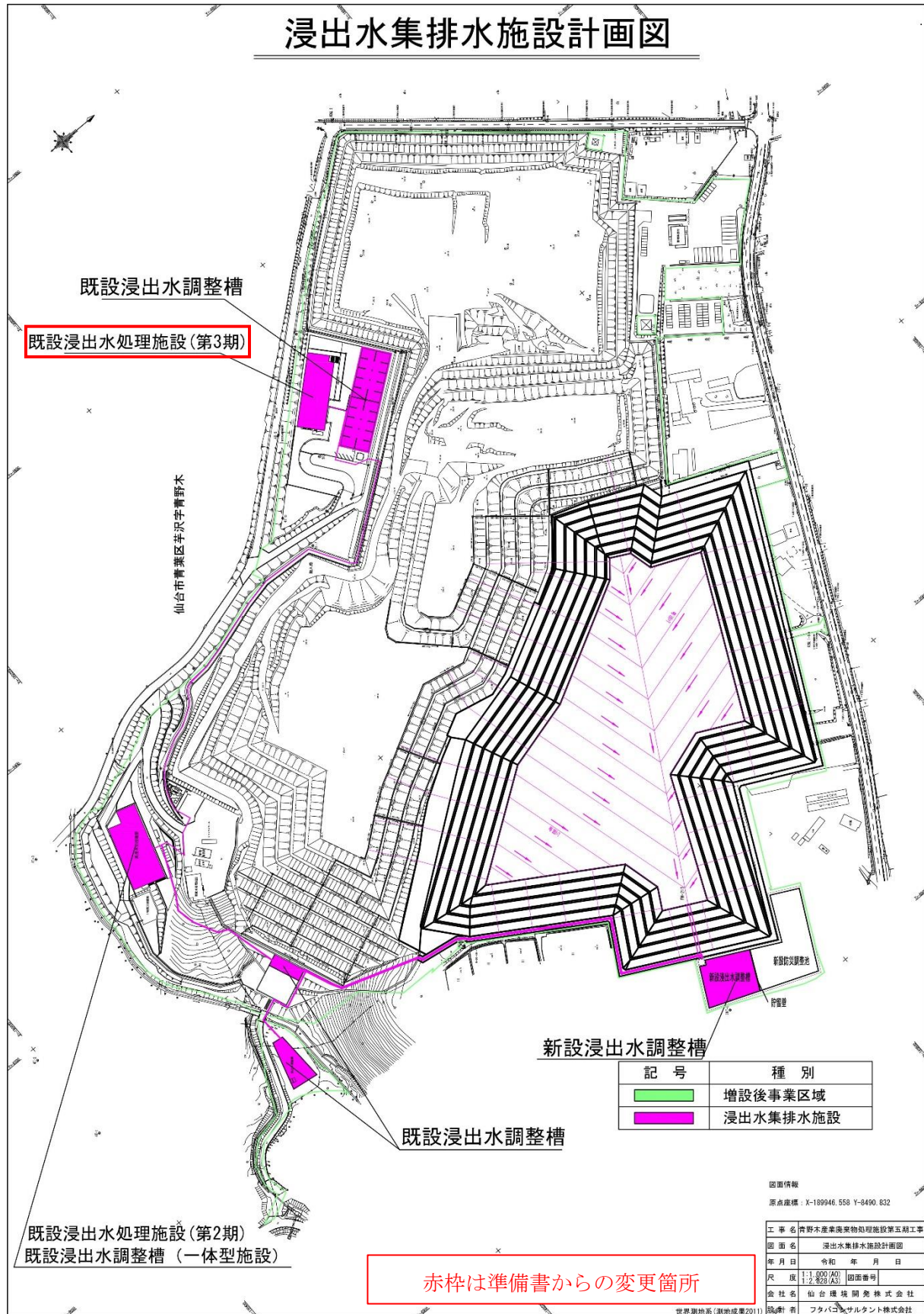


図1-20 浸出水集排水施設計画図

審査会の指摘事項の対応（ 4. 水質 No. 2 ）

表 水質調査結果（生物化学的酸素要求量 (BOD)）

単位：mg/L

項目	令和5年 4月	令和5年 7月	令和5年 10月	令和6年 2月	排水基準
第2期浸出水処理施設放流水	2.4	2.4	4.8	0.8	7 以下
第3期浸出水処理施設放流水	1.5	1.5	2.9	3.8	

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

8 現地調査における確認種の経年変化

既設処分場増設時に産業廃棄物処理施設変更許可申請に伴い実施した生活環境影響調査書における自然環境影響調査を含め、現地調査における確認種について整理した結果を表8-2～表8-9に示す。なお、国及び宮城県のレッドデータ等については、表8-1に示す選定基準に基づきカテゴリーの再整理を行った。

< 第3期 >

出典：「(仮称) 産業廃棄物最終処分場増設事業（第3期）環境影響調査報告書」（平成24年11月、
仙台環境開発株式会社）

調査時期：平成23年9月～平成24年8月

調査範囲：図8-1

< 第4期 >

出典：「(仮称) 産業廃棄物最終処分場増設事業（第4期）自然環境影響調査報告書」（平成29年2
月、仙台環境開発株式会社）

調査時期：平成27年10月～平成28年9月

調査範囲：図8-2

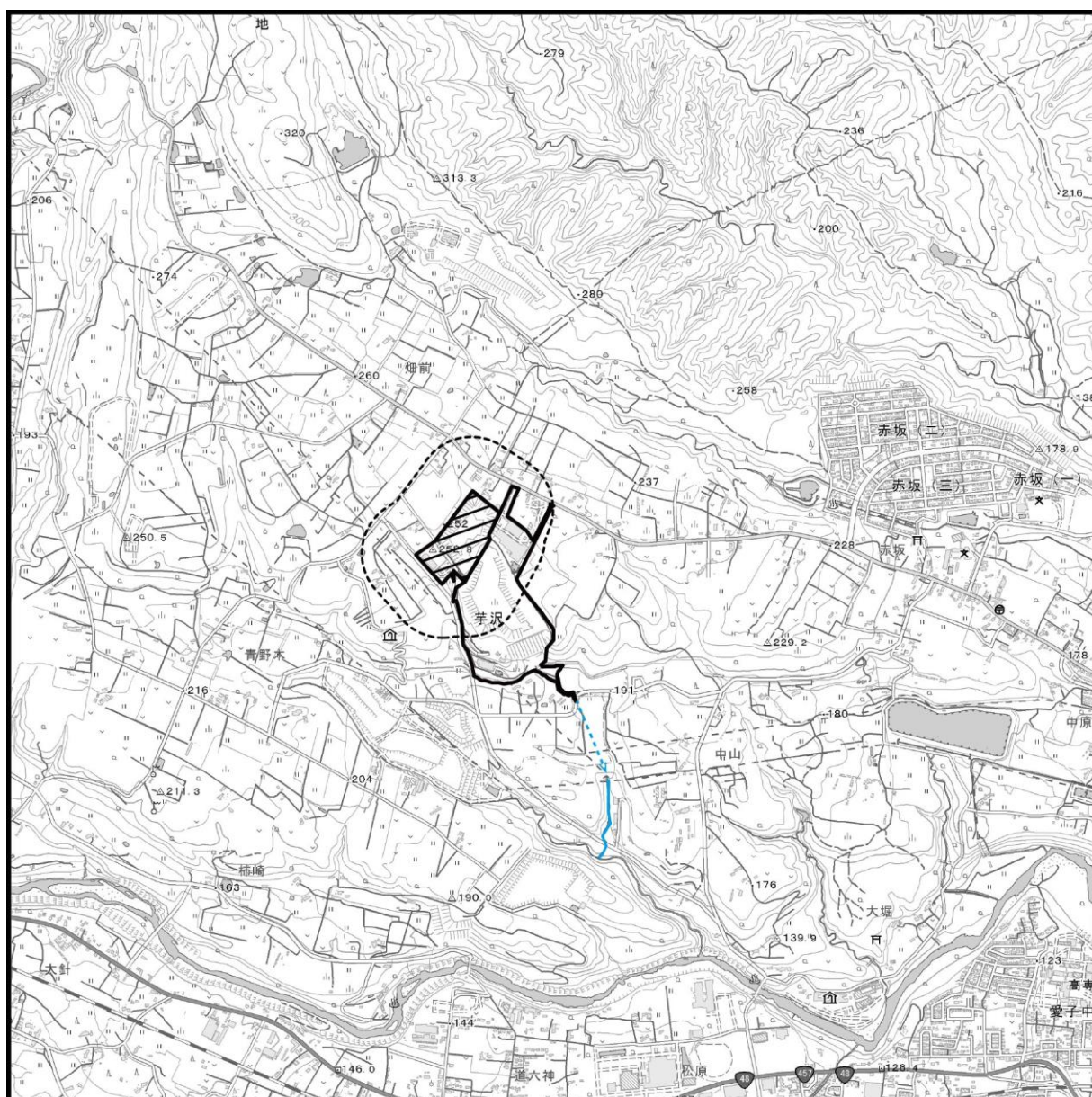
< 第5期 >（本調査）

調査時期：令和5年4月～令和6年5月

調査範囲：図8-3

表8-1 注目すべき種の選定基準

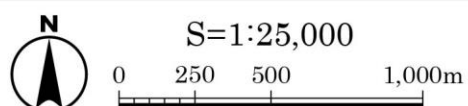
番号	選定基準	カテゴリー
I	「文化財保護法」（昭和 25 年、法律第 214 号）	特天：国指定特別天然記念物 天：国指定天然記念物
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成 4 年、法律第 75 号）	国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種 特一：特定第一種国内希少野生動植物種 特二：特定第二種国内希少野生動植物種
III	・植物 「第 5 次レッドリスト（植物・菌類）」（令和 7 年 3 月、環境省） ・動物 「第 5 次レッドリスト（鳥類及び両生・爬虫類）」（令和 8 年 3 月、環境省） 「環境省レッドリスト 2020」（令和 2 年 3 月、環境省報道発表資料）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
IV	「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト 2024 年版-」（令和 6 年 3 月、宮城県）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 要：要注目種

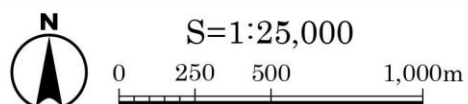


凡 例

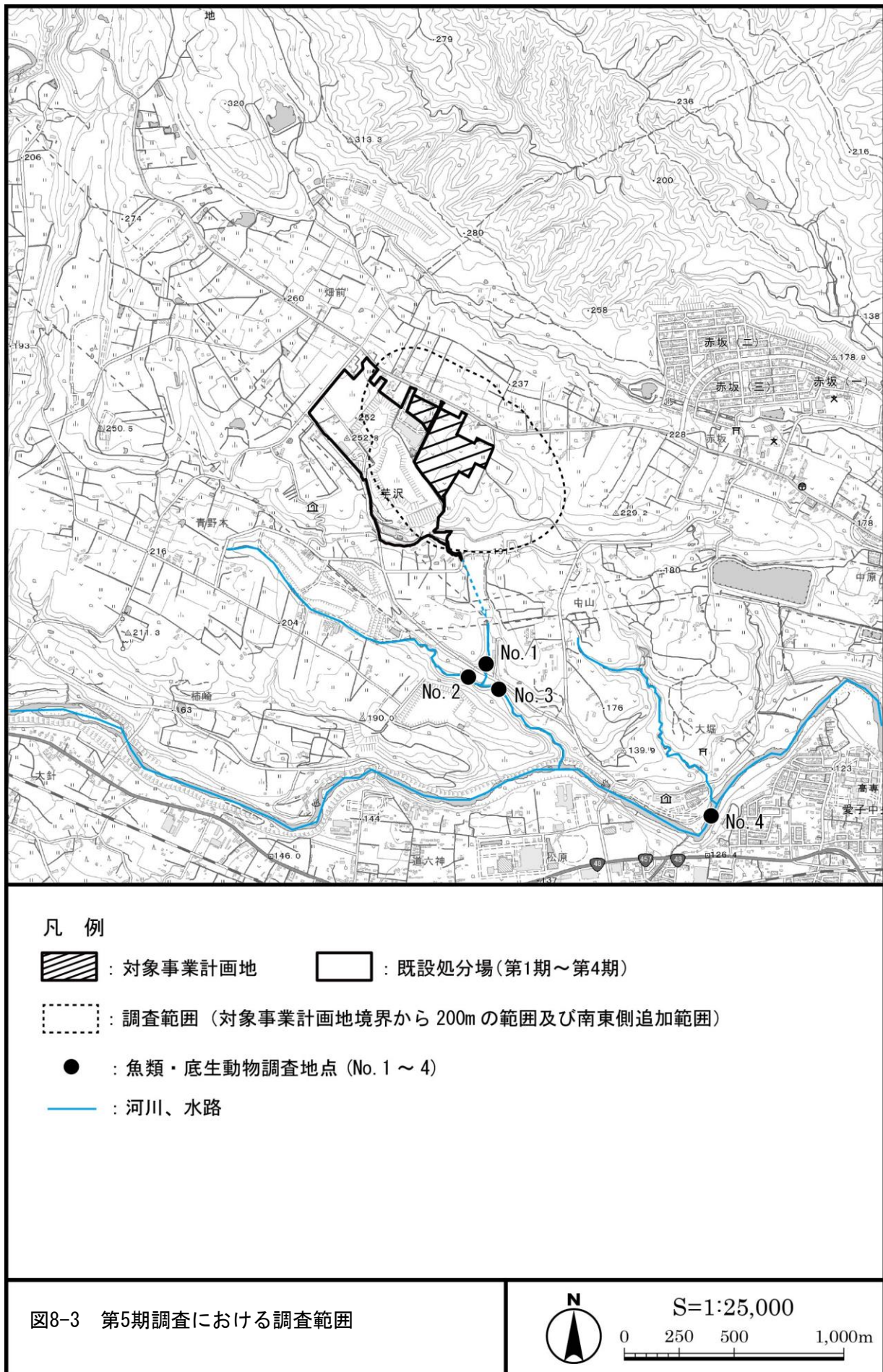
-  : 対象事業計画地
  : 既設処分場(第1期～第2期)
-  : 調査範囲 (対象事業計画地境界から 200m の範囲)
-  : 魚類・底生動物 調査対象河川等 (調査範囲は 200m程度)

図8-1 第3期調査における調査範囲





審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)



審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

(1) 植物現地調査結果

表 8-2(1) 現地調査における植物確認種(1/9)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				備考
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV	
シダ植物門											
1	トクサ	トクサ	スギナ	●	●	●					
2			イヌスギナ			●					
3	ハナヤスリ	ハナヤスリ	アカハナワラビ	●							
4			フユノハナワラビ	●	●						
5	ゼンマイ	ゼンマイ	ゼンマイ	●	●	●					
6	ウラボシ	コバノイシカグマ	オウレンシダ	●		●					
7			ワラビ	●	●	●					
8		チャセンシダ	トラノオシダ	●	●	●					
9		ヒメシダ	ヒメワラビ	●							
10			ハリガネワラビ	●	●	●					
11			ヒメシダ	●	●	●					
12			ミゾシダ	●	●	●					
13		コウヤワラビ	イヌガンソク	●	●	●					
14			コウヤワラビ	●	●	●					
15			クサソテツ	●	●	●					
16		シシガシラ	シシガシラ	●	●	●					
17		メシダ	イヌワラビ	●	●						
18			サトメシダ	●	●						
19			ヤマイヌワラビ	●	●	●					
20			ヘビノネゴザ	●	●						
21			ホソバシケシダ	●	●	●					
22			シケシダ	●	●						
23			ミヤマシケシダ（広義）		●						
24		オシダ	ホソバナライシダ	●	●	●					
25			リュウメンシダ	●	●	●					
26			ヤブソテツ	●	●	●					
27			オシダ	●	●						
28			ベニシダ		●	●					
29			クマワラビ	●		●					
30			ミヤマベニシダ		●						
31			ミヤマイタチシダ		●						
32			タニヘゴ		●						
33			オクマワラビ	●	●	●					
34			イワシロイノデ	●	●	●					
35			イノデ		●						
36			サカゲイノデ	●	●	●					
37			ジュウモンジシダ	●	●	●					
種子植物門・裸子植物亜門											
38	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	●		●					
39	マツ	マツ	モミ	●	●	●					
40			ヒマラヤスギ		●						
41			カラマツ		●	●					
42			アカマツ		●	●					
43	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	●	●	●					
44			サワラ			●					
45			スギ	●	●	●					
46		イチイ	イヌガヤ	●	●	●					
47			ハイイヌガヤ	●							
種子植物門・被子植物亜門・基部被子植物											
48	シキミ	マツブサ	マツブサ	●		●					
49	センリョウ	センリョウ	ヒトリシズカ			●					
50			フタリシズカ	●	●	●					
51	コショウ	ドクダミ	ドクダミ	●	●	●					
52		ウマノスズクサ	ウスバサイシン	●							
53	モクレン	モクレン	コブシ	●	●	●					
54			キタコブシ		●						
55			ホオノキ	●	●	●					
56	クスノキ	クスノキ	オオバクロモジ	●	●	●					
57			シロダモ	●	●	●					
種子植物門・被子植物亜門・単子葉類											
58	ショウブ	ショウブ	ショウブ	●							
59	オモダカ	サトイモ	コウライテンナンショウ			●					
60			マムシグサ（広義）	●	●						
61			ウラシマソウ	●							
62			アオウキクサ	●	●	●					
63			ミズバショウ			●					
64			カラスビシャク	●	●	●					
65			ウキクサ	●							
66		オモダカ	ヘラオモダカ		●	●					
67			オモダカ	●	●						
68		ヒルムシロ	ヒルムシロ		●						
69	ヤマノイモ	ヤマノイモ	ヤマノイモ	●	●	●					
70			ウチワドコロ			●					
71			ナガイモ			●					
72			オニドコロ	●	●	●					
73	ユリ	シュロソウ	ツクバネソウ	●	●						
74			エンレイソウ			●					
75			バイケイソウ	●		●					
-			シュロソウ属の一種			●					
76		イヌサフラン	チゴユリ	●	●	●					
77		サルトリイバラ	サルトリイバラ	●	●	●					
78			タチシオデ	●	●	●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-2(2) 現地調査における植物確認種(2/9)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				備考
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV	
79	ユリ	サルトリイバラ	シオデ	●	●	●					
80			ヤマカシユウ	●	●	●					
81		ユリ	ウバユリ	●							
82			オオウバユリ			●					
83			カタクリ	●	●	●					
84			ヤマユリ	●	●	●					
85			オニユリ		●						
86			ヤマジノホトトギス	●	●	●					
87	クサスギカズラ	ラン	ササバギンラン		●						
88			ユウシュンラン			●			NT	NT	
89			サイハイラン	●	●	●					
90			シュンラン	●	●	●					
91			ツチアケビ	●							
92			ホクリクムヨウラン			●					
93			ネジバナ	●	●	●					
94		アヤメ	ヒメシャガ			●			NT	NT	
95			シャガ		●	●					
96			キショウブ			●					帰化植物
97		ススキノキ	ヤブカンゾウ	●		●					
98		ヒガンバナ	ノビル	●	●	●					
99			ヒガンバナ		●						
100			ナツズイセン		●						
101			スイセン	●		●					
102		クサスギカズラ	オオバギボウシ	●		●					
103			コバギボウシ	●	●	●					
104			ヒメヤブラン			●					
105			ヤブラン		●						
106			マイヅルソウ	●	●	●					
107			ユキザサ			●					
108			ムスカリ			●					
109			ジャノヒゲ	●	●						
110			オオバジャノヒゲ	●	●	●					
111			オオアマナ			●					帰化植物
112			ミヤマナルコユリ	●	●	●					
113			オオナルコユリ	●							
114			オモト	●		●					
115	ヤシ	ヤシ	シュロ	●		●					
116	ツユクサ	ツユクサ	ツユクサ	●	●	●					
117			イボクサ	●		●					
118		ミズアオイ	コナギ	●	●	●					
119	ショウガ	ショウガ	ミョウガ	●		●					
120	イネ	ガマ	ヒメガマ		●						
121			ガマ	●	●	●					
122		ホシクサ	コイヌノヒゲ		●						
123		イグサ	イグサ	●	●	●					
124			アオコウガイゼキショウ		●						
125			コウガイゼキショウ	●	●	●					
126			クサイ	●	●	●					
127			スズメノヤリ	●	●						
128			ミノボロスゲ	●							
129		カヤツリグサ	エナシヒゴクサ	●	●						
130			ハリガネスゲ	●		●					
131			ミヤマシラスゲ	●	●	●					
132			ヤマアゼスゲ	●	●						
133			カワラスゲ	●		●					
134			ジュズスゲ	●	●						
135			ヒゴクサ	●	●	●					
136			ヒカゲスゲ	●	●	●					
137			アズマスゲ			●					
138			アオスゲ	●	●	●					
139			コジュズスゲ		●	●					
140			ゴウソ	●	●						
141			ヒメシラスゲ			●					
142			ヤチカワズスゲ	●							
143			グレースゲ	●							
144			ヒメゴウソ	●							
145			イトアオスゲ			●					
146			タガネソウ	●	●	●					
147			ミチノクホンモンジスゲ	●							
148			アゼスゲ			●					
149			チャガヤツリ			●					
150			ヒメクグ	●	●	●					
151			タマガヤツリ	●	●	●					
152			ヒナガヤツリ		●						
153			コゴメガヤツリ		●	●					
154			ヒンジガヤツリ		●						
155			カヤツリグサ	●	●	●					
156			アオガヤツリ		●						
157			ウシクグ	●	●	●					
158			カワラスガナ		●						
159			ハリイ		●						
160			クログワイ		●						
161			シカクイ	●							

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-2(3) 現地調査における植物確認種(3/9)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				備考
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV	
162	イネ	カヤツリグサ	ヒメヒラテンツキ		●						
163			テンツキ		●						
164			ホタルイ	●							
165			イヌホタルイ		●	●					
166			サンカクイ			●					
167			コマツカサススキ			●					
168			アブラガヤ		●	●					
169		イネ	ヌカボ	●							
170			コヌカグサ	●	●	●					帰化植物
171			スズメノテッポウ	●	●	●					
172			メリケンカルカヤ		●	●					帰化植物
173			コウボウ			●					
174			ハルガヤ	●	●	●					帰化植物
175			コブナグサ	●	●	●					
176			トダシバ		●	●					
177			コウヤザサ	●							
178			イヌムギ			●					帰化植物
179			スズメノチャヒキ	●							
180			キツネガヤ	●	●						
181			ノガリヤス	●	●						
182			ヤマアワ	●	●						
183			ヒメノガリヤス			●					
184			カモガヤ	●	●	●					帰化植物
185			メヒシバ	●	●	●					
186			アキメヒシバ	●	●						
187			イヌビエ	●	●	●					
188			タイヌビエ	●							
189			オヒシバ	●	●	●					
190			アオカモジグサ	●							
191			カモジグサ	●		●					
192			シバムギ	●							帰化植物
193			シナダレスズメガヤ	●	●						帰化植物
194			カゼクサ	●	●						
195			コスズメガヤ		●	●					帰化植物
196			ニワホコリ	●	●						
197			ナルコビエ		●	●					
198			トボシガラ	●	●	●					
199			ウシノシッペイ	●	●	●					
200			シラゲガヤ	●							帰化植物
201			ケナシチガヤ	●							
202			チガヤ	●	●	●					
203			チゴザサ	●	●	●					
204			エゾノサヤヌカグサ			●					
205			ササガヤ		●	●					
206			ネズミムギ	●	●	●					帰化植物
207			ホソムギ	●	●	●					帰化植物
208			アシボソ		●	●					
209			ススキ	●	●	●					
210			ネズミガヤ			●					
211			コチヂミザサ		●	●					
212			ケチヂミザサ	●	●	●					
213			ヌカキビ	●	●	●					
214			オオクサキビ	●	●	●					帰化植物
215			スズメノヒエ	●	●	●					
216			チカラシバ	●	●	●					
217			クサヨシ	●	●	●					
218			オオアワガエリ	●	●	●					帰化植物
219			ヨシ		●	●					
220			モウソウチク	●	●	●					
221			マダケ	●	●	●					
222			アズマネザサ	●	●	●					
223			ミゾイチゴツナギ	●	●						
224			スズメノカタビラ	●	●	●					
225			ツルスズメノカタビラ			●					帰化植物
226			ヤマミゾイチゴツナギ	●							
227			ナガハグサ	●	●	●					帰化植物
228			イチゴツナギ			●					
229			オオスズメノカタビラ	●	●	●					帰化植物
230			ヤダケ	●	●						
231			チマキザサ			●					
232			クマイザサ			●					
233			クリオザサ		●						
234			アズマザサ	●	●	●					
235			オニウシノケグサ	●		●					帰化植物
236			アキノエノコログサ	●	●	●					
237			キンエノコロ	●	●	●					
238			オオエノコロ			●					
239			エノコログサ	●	●	●					
240			カニツリグサ	●							
241			ナギナタガヤ	●		●					帰化植物
242			マコモ			●					
243			シバ			●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-2(4) 現地調査における植物確認種(4/9)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				備考
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV	
種子植物門・被子植物亜門・真正双子葉類											
244	キンボウゲ	ケシ	クサノオウ	●	●	●					
245			ムラサキケマン	●	●	●					
246			タケニグサ	●	●	●					
247			ナガミヒナゲシ			●					帰化植物
248		アケビ	アケビ	●	●	●					
249			ミツバアケビ	●	●	●					
250		メギ	ヒイラギナンテン		●	●					
251			メギ	●	●						
252			イカリソウ		●						
-			イカリソウ属の一種			●					
253		キンボウゲ	ナンテン			●					
254			ニリンソウ			●					
255			キクザキイチゲ	●		●					
256			リュウキンカ	●		●					
257			オオバショウマ	●							
258			ボタンツル	●	●	●					
259			コボタンツル		●	●					
260			トリガタハンショウツル		●	●					
261	ケキツネノボタン			●	●						
262	キツネノボタン		●	●	●						
263	ヤマモガシ	アワブキ	●	●	●						
264	ユキノシタ	マンサク	オオバマンサク	●	●	●					
265		ユキノシタ	チダケサシ	●							
266			トリアシショウマ			●					
267			ユキノシタ		●	●					
268		ベンケイソウ	コモチマンネングサ	●							
269			ツルマンネングサ	●	●	●				帰化植物	
270	ブドウ	ブドウ	ノブドウ	●	●	●					
271			ヤブカラシ	●	●	●					
272			ツタ	●		●					
273			ヤマブドウ			●					
274			サンカクツル	●	●						
275	マメ	マメ	クサネム	●		●					
276			ネムノキ	●	●	●					
277			イタチハギ			●				帰化植物	
278			ヤブマメ	●	●	●					
279			ノササゲ	●	●						
280			ツルマメ	●	●	●					
281			ヌスビトハギ		●	●					
282			ヤブハギ	●	●						
283			マルバヤハズソウ		●						
284			ヤハズソウ	●	●	●					
285			ヤマハギ	●	●	●					
286			メドハギ			●					
287			ネコハギ	●	●						
288			イヌエンジュ		●						
289			コメツブウマゴヤシ			●				帰化植物	
290			ムラサキウマゴヤシ			●				帰化植物	
291			クズ	●	●	●					
292			ハリエンジュ			●				帰化植物	
293			コメツブツメクサ	●	●	●				帰化植物	
294			ムラサキツメクサ	●	●	●				帰化植物	
295			シロツメクサ	●	●	●				帰化植物	
296			スズメノエンドウ			●					
297			ヤハズエンドウ	●	●	●					
298			カスマグサ			●					
299			ヤブツルアズキ		●	●					
300			フジ	●	●	●					
301	バラ	グミ	ナツグミ		●						
302			アキグミ			●					
303		クロウメモドキ	クマヤナギ	●	●	●					
304			クロツバラ			●					
305		ニレ	クロウメモドキ		●						
306			ケヤキ	●	●	●					
307		アサ	エゾエノキ	●							
308			カラハナソウ	●	●	●					
309			カナムグラ	●	●	●					
310		クワ	ヒメコウゾ	●	●	●					
311			ヤマグワ	●	●	●					
312		イラクサ	ヤブマオ			●					
313			カラムシ	●		●					
314			ナンバンカラムシ		●					帰化植物	
315			アカソ	●	●	●					
316			コアカソ			●					
317			ウワバミソウ	●	●	●					
318			ムカゴイラクサ	●							
319			ヤマミズ			●					
320			アオミズ	●	●	●					
321		バラ	ヒメキンミズヒキ	●							
322			キンミズヒキ		●	●					
323			アズキナシ	●		●					
324			ウラジロノキ			●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-2(5) 現地調査における植物確認種(5/9)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				備考
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV	
325	バラ	バラ	チョウジザクラ	●	●	●					
326			エドヒガン			●					
327			ヤマザクラ		●	●					
328			カスミザクラ	●	●	●					
329			オオヤマザクラ			●					
330			ソメイヨシノ	●		●					
331			ダイコンソウ		●	●					
332			ヤマブキ			●					
333			オオウラジロノキ	●							
334			コゴメウツギ	●	●	●					
335			イヌザクラ	●	●	●					
336			ウヅミザクラ	●	●	●					
337			ヒメヘビイチゴ	●	●	●					
338			ミツバツチグリ	●	●	●					
339			ヘビイチゴ	●	●	●					
340			ヤブヘビイチゴ	●	●	●					
341			カマツカ	●		●					
342			ケカマツカ	●	●						
343			ウメ			●					
344			ノイバラ	●	●	●					
345			クマイチゴ	●	●	●					
346			ニガイチゴ	●	●	●					
347			モミジイチゴ	●	●	●					
348			ナワシロイチゴ	●	●	●					
349			エビガライチゴ	●							
350			ウレモコウ		●	●					
351			ナナカマド		●						
352	ブナ	ブナ	クリ	●	●	●					
353			イヌブナ	●		●					
354			ミズナラ			●					
355			コナラ	●	●	●					
356			オニグルミ	●	●	●					
357		カバノキ	ハンノキ			●					
358			ヒメヤシャブシ			●					
359			サウシバ		●	●					
360			クマシデ	●		●					
361			アカシデ	●	●	●					
362			イヌシデ	●	●	●					
363			ハシバミ		●						
364			ツノハシバミ	●	●	●					
365			アサダ	●		●					
366	ウリ	ウリ	アマチャヅル	●	●	●					
367			アレチウリ	●	●	●					特定外来生物
368			キカラスウリ	●	●	●					
369			スズメウリ	●	●	●					
370	ニシキギ	ニシキギ	ツルウメモドキ	●	●	●					
371			オニツルウメモドキ	●	●						
372			ニシキギ	●	●	●					
373			コマユミ	●	●	●					
374			ツルマサキ			●					
375			マサキ	●	●						
376			ツリバナ	●	●	●					
377			マユミ	●		●					
378			カントウマユミ		●						
379	カタバミ	カタバミ	イモカタバミ			●					帰化植物
380			カタバミ	●	●	●					
381			オッタチカタバミ			●					帰化植物
382			エゾタチカタバミ	●		●					
383	キントラノオ	トウダイグサ	エノキグサ	●	●	●					
384			タカトウダイ			●					
385			コニシキソウ	●	●	●					帰化植物
386			オオニシキソウ	●		●					帰化植物
387			ナツトウダイ	●		●					
388			アカメガシワ	●	●	●					
389			シラキ	●	●	●					
390		ミゾハコベ	ミゾハコベ	●	●						
391		ヤナギ	セイヨウハコヤナギ		●						
392			バッコヤナギ	●	●	●					
393			シロヤナギ	●	●	●					
394			ネコヤナギ	●							
395			イヌコリヤナギ	●		●					
396			タチヤナギ		●	●					
397			オノエヤナギ	●	●	●					
398			キツネヤナギ	●							
399			アリアケスミレ			●					
400			エイザンスミレ	●		●					
401		スミレ	タチツボスミレ	●	●	●					
402			アオイスミレ	●	●	●					
403			オオタチツボスミレ			●					
404			スミレ			●					
405			ナガハシスミレ	●		●					
406			アメリカスミレサイシン			●					帰化植物
407			ツボスミレ	●	●	●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-2(6) 現地調査における植物確認種(6/9)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				備考
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV	
408	キントラノオ	スミレ	マキノスミレ		●						
-			スミレ属の一種			●					
409		オトギリソウ	オトギリソウ			●					
410			コケオトギリ	●	●	●					
411	フウロソウ	フウロソウ	アメリカフウロ			●					帰化植物
412			ゲンノショウコ	●	●	●					
413	フトモモ	ミソハギ	ミソハギ		●						
414			キカシグサ			●					
415		アカバナ	ミズタマソウ			●					
416			アカバナ		●						
417			チョウジタデ		●	●					
418			メマツヨイグサ	●	●	●					帰化植物
419			ユウゲショウ			●					帰化植物
420	ミツバウツギ	ミツバウツギ	ミツバウツギ	●	●	●					
421		キブシ	キブシ			●					
422	ムクロジ	ウルシ	ヌルデ	●	●	●					
423			ツタウルシ	●	●	●					
424			ヤマウルシ	●	●	●					
425		ムクロジ	オオモミジ	●	●	●					
426			ヤマモミジ	●	●	●					
427			ミツデカエデ	●	●	●					
428			ハウチワカエデ			●					
429			メグスリノキ		●	●					
430			エンコウカエデ	●	●	●					
431			アカイタヤ		●	●					
432			エゾイタヤ			●					
433			オニイタヤ	●	●	●					
434			ウリハダカエデ		●	●					
435			コハウチワカエデ	●	●	●					
436			トチノキ	●	●						
437		ミカン	コクサギ			●					
438			カラスザンショウ	●	●	●					
439			サンショウ	●	●	●					
440			イヌザンショウ	●	●						
441		ニガキ	ニワウルシ			●					帰化植物
442			ニガキ		●						
443	アオイ	アオイ	イチビ		●						帰化植物
444			シナノキ			●					
445			オオバボダイジュ	●							
446	アブラナ	アブラナ	ヤマハタザオ			●					
447			ハルザキヤマガラシ		●	●					帰化植物
448			カラシナ			●					帰化植物
449			セイヨウアブラナ			●					帰化植物
450			ナズナ	●	●	●					
451			ミチタネツケバナ			●					帰化植物
452			コンロンソウ		●						
453			タネツケバナ	●	●	●					
454			ワサビ	●							
455			マメグンバイナズナ	●		●					帰化植物
456			オランダガラシ		●						帰化植物
457			ダイコン		●						
458			イヌガラシ	●	●	●					
459			スカシタゴボウ	●	●	●					
460	ビャクダン	ビャクダン	ツクバネ			●					
461	ナデシコ	タデ	ソバ	●							
462			イタドリ	●	●	●					
463			ケイタドリ	●	●	●					
464			オオイタドリ		●	●					
465			ミズヒキ	●	●	●					
466			ヤナギタデ		●	●					
467			オオイヌタデ	●	●	●					
468			イヌタデ	●	●	●					
469			ヤノネグサ	●	●						
470			タニソバ	●	●	●					
471			イシミカワ	●							
472			ハナタデ	●	●						
473			アキノウナギツカミ	●	●						
474			ウナギツカミ			●					
475			ミソソバ	●	●	●					
476			ミチヤナギ	●	●	●					
477			スイバ	●	●	●					
478			ヒメスイバ	●	●	●					帰化植物
479			アレチギシギシ			●					帰化植物
480			ギシギシ			●					
481			エゾノギシギシ	●	●	●					帰化植物
-			ギシギシ属の一種			●					
482		ナデシコ	ノミノツツリ	●							
483			ミミナグサ	●		●					
484			オランダミミナグサ	●		●					帰化植物
485			ツメクサ	●	●	●					
486			フシグロセンノウ		●						
487			ウスベニツメクサ		●						帰化植物
488			ウシハコベ	●	●	●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-2(7) 現地調査における植物確認種(7/9)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				備考
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV	
489	ナデシコ	ナデシコ	コハコベ	●	●	●					帰化植物
490			ミドリハコベ	●	●	●					
491			ノミノフスマ	●	●						
492		ヒユ	イノコヅチ	●		●					
493			ヒナタイノコヅチ	●	●	●					
494			イヌビユ	●	●	●					
495			シロザ	●	●	●					
496			アカザ			●					帰化植物
497			ゴウシュウアリタソウ			●					帰化植物
498			ヤマゴボウ	●	●	●					帰化植物
499			スベリヒユ	●	●	●					
500	ミズキ	ミズキ	ミズキ	●	●	●					
501			ヤマボウシ	●	●	●					
502			クマノミズキ	●	●	●					
503		アジサイ	ツルアジサイ	●	●	●					
504			ノリウツギ		●	●					
505			エゾアジサイ			●					
506			イワガラミ	●	●	●					
507	ツツジ	ツリフネソウ	ツリフネソウ			●					
508		カキノキ	カキノキ			●					
509			マメガキ		●						
510		サクラソウ	ヤブコウジ	●	●	●					
511			オカトラノオ	●		●					
512			コナスビ	●		●					
513		ツバキ	ヤブツバキ		●	●					
514			チャノキ			●					
515		ハイノキ	サワフタギ	●	●	●					
516		エゴノキ	エゴノキ	●	●	●					
517			ハクウンボク	●	●	●					
518		マタタビ	サルナシ	●	●	●					
519			マタタビ	●	●						
520		リョウブ	リョウブ	●	●	●					
521		ツツジ	サラサドウダン			●					
522			アブラツツジ			●					
523			イチヤクソウ			●					
524			ムラサキヤシオツツジ			●					
525			ヤマツツジ	●	●	●					
526	アオキ	アオキ	アオキ	●	●	●					
527	リンドウ	アカネ	クルマムグラ	●		●					
528			キクムグラ	●	●						
529			オオバノヤエムグラ		●						
530			ヤエムグラ	●	●	●					
531			ヨツバムグラ			●					
532			オククルマムグラ			●					
533			ハシカグサ			●					
534			ヘクソカズラ	●	●	●					
535			アカネ	●	●	●					
536		リンドウ	リンドウ			●					
537			フデリンドウ			●					
538			ツルリンドウ		●	●					
539		キョウチクトウ	イケマ			●					
540			ガガイモ	●		●					
541			ツルニチニチソウ	●	●	●					帰化植物
542			オオカモメヅル	●							
543	ナス	ヒルガオ	ヒルガオ	●	●	●					
544			マルバアサガオ			●					帰化植物
545		ナス	ヒヨドリジョウゴ	●		●					
546			イヌホオズキ	●	●						
547	ムラサキ	ムラサキ	ハナイバナ			●					
548			ノハラムラサキ			●					帰化植物
549			ヒレハリソウ	●							帰化植物
550			コンフリー	●	●	●					
551			キュウリグサ	●	●	●					
552	シソ	モクセイ	トネリコ			●					
553			アオダモ	●	●	●					
554			マルバアオダモ	●	●	●					
555			ネズミモチ			●					
556			トウネズミモチ	●		●					帰化植物
557			イボタノキ		●	●					
558			ミヤマイボタ	●							
559		オオバコ	ホソバウンラン	●							帰化植物
560			マツバウンラン		●						帰化植物
561			オオバコ	●	●	●					
562			ヘラオオバコ		●	●					帰化植物
563			タチイヌノフグリ	●	●	●					帰化植物
564			フラサバソウ			●					帰化植物
565			オオイヌノフグリ	●	●	●					帰化植物
566		ゴマノハグサ	ピロードモウズイカ		●	●					帰化植物
567		アゼナ	アメリカアゼナ	●	●	●					帰化植物
568			アゼトウガラシ		●						
569		シソ	キランソウ			●					
570			ツクバキンモンソウ			●					
571			ムラサキシキブ	●	●	●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-2(8) 現地調査における植物確認種(8/9)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				備考
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV	
572	シン	シン	ヤブムラサキ			●					
573			クサギ	●	●	●					
574			クルマバナ	●							
575			イヌトウバナ	●	●	●					
576			テンニンソウ	●	●	●					
577			ナギナタコウジュ		●	●					
578			カキドオシ	●	●	●					
579			ヤマハッカ	●	●	●					
580			オドリコソウ			●					
581			ホトケノザ			●					
582			ヒメオドリコソウ	●	●	●					帰化植物
583			コシロネ	●	●	●					
584			シロネ			●					
585			ヒメシロネ	●							
586			ハッカ	●		●					
587			マルバハッカ			●					帰化植物
588			ヒメジソ		●	●					
589			ウツボグサ	●							
590			キバナアキギリ	●		●					
591			ニガクサ			●					
592		サギゴケ	ムラサキサギゴケ	●	●	●					
593			トキワハゼ	●	●	●					
594		ハエドクソウ	ハエドクソウ	●	●	●					
595			ナガバハエドクソウ			●					
596		キリ	キリ		●						
597			タヌキモ		●				NT	NT	
598		ノウゼンカズラ	キササゲ		●						
599			クマツヅラ			●					帰化植物
600	モチノキ	モチノキ	ハナイカダ			●					
601			イヌツゲ	●	●	●					
602			ハイイヌツゲ	●							
603			アオハダ	●	●	●					
604	キク	キク	ウメモドキ	●	●	●					
605			ツルニンジン	●							
606			ミゾカクシ	●	●	●					
607			タニギキョウ	●		●					
608			オクモミジハグマ	●	●	●					
609			ブタクサ	●							帰化植物
610			オオブタクサ	●	●	●					帰化植物
611			カワラヨモギ			●					
612			ヨモギ	●	●	●					
613			イヌヨモギ		●						
614			ゴマナ		●	●					
615			ユウガギク	●	●	●					
616			シロヨメナ	●	●						
617			ノコンギク	●	●	●					
618			シラヤマギク		●	●					
619			オケラ			●					
620			アメリカセンダングサ	●	●	●					帰化植物
621			コセンダングサ			●					帰化植物
622			タウコギ	●	●	●					
623			ヤブタバコ	●							
624			トキンソウ		●	●					
625			ダキバヒメアザミ			●					
626			ノアザミ			●					
627			タカアザミ		●						
628			ナンブアザミ		●						
629			アメリカオニアザミ			●					帰化植物
630			オオキンケイギク	●							特定外来生物
631			コスモス	●							
632			ヤクシソウ	●	●	●					
633			ダンドボロギク		●						帰化植物
634			ヒメジョオン	●	●	●					帰化植物
635			ヒメムカシヨモギ	●	●	●					帰化植物
636			ハルジオン	●	●	●					帰化植物
637			オオアレチノギク	●		●					帰化植物
638			サウヒヨドリ	●							
639			ヒヨドリバナ (広義)		●	●					
640			ハキダメギク	●	●	●					帰化植物
641			チチコグサ		●	●					
642			キツネアザミ	●							
643			フタナ	●	●	●					帰化植物
644			ニガナ		●	●					
645			ハナニガナ	●		●					
646			オオジシバリ		●	●					
647			イワニガナ	●	●	●					
648			アキノノゲシ	●	●	●					
649			ヤマニガナ			●					
650			トゲチシャ		●						帰化植物
651			ヤブタビラコ			●					
652			フランスギク	●		●					帰化植物
653			マルバダケブキ	●		●					
654			モミジガサ	●	●	●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-2(9) 現地調査における植物確認種(9/9)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				備考	
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV		
655	キク	キク	ナガバノコウヤボウキ		●							
656			オヤリハグマ	●								
657			フキ	●	●	●						
658			コウゾリナ	●	●	●						
659			ハハコグサ	●	●	●						
660			キヌガサギク			●					帰化植物	
661			オオハンゴンソウ	●	●	●					特定外来生物	
662			センダイトウヒレン			●						
663			ノボロギク	●	●	●					帰化植物	
664			コメナモミ	●	●							
665			セイタカアワダチソウ	●	●	●					帰化植物	
666			オオアワダチソウ	●		●					帰化植物	
667			アキノキリンソウ	●	●	●						
668			オニノゲシ	●	●	●					帰化植物	
669			ノゲシ	●	●	●						
670			ヤブレガサ	●	●	●						
671			オヤマボクチ			●						
672			セイヨウタンポポ	●	●	●					帰化植物	
673			エゾタンポポ	●	●	●						
674			オニタビラコ（広義）	●	●	●						
675			アカオニタビラコ			●						
676			アオオニタビラコ			●						
677	セリ	ウコギ	ウド	●	●							
678			タラノキ	●	●	●						
679			コシアブラ	●	●	●						
680			ケヤマウコギ	●								
681			ヤマウコギ	●	●	●						
682			ヤツデ	●	●	●						
683			タカノツメ			●						
684			キツタ	●	●	●						
685			ノチドメ	●								
686			オオチドメ	●	●	●						
687			ハリギリ	●	●	●						
688			トチバニンジン	●		●						
689		セリ	ノダケ	●	●	●						
690			ミツバ	●	●	●						
691			セリ	●	●	●						
692			ヤブニンジン		●	●						
693			ウマノミツバ			●						
694			カノツメソウ	●		●						
695			オヤブジラミ	●	●	●						
696			マツムシソウ	ニワトコ	●	●	●					
697				ガマズミ	●	●	●					
698				カンボク	●							
699	オトコヨウゾメ	●		●	●							
700	ケナシヤブデマリ	●										
701	ヤブデマリ	●		●	●							
702	マルバゴマキ	●										
703	ミヤマガマズミ	●		●	●							
704	スイカズラ	ツクバネウツギ		●	●	●						
705		ウグイスカグラ				●						
706		ヤマウグイスカグラ	●	●	●							
707		スイカズラ	●	●	●							
708		オミナエシ	●									
709		オトコエシ	●	●	●							
710		タニウツギ	●		●							
51目				125科	710種	461種	455種	545種	0種	0種	3種	3種

注 1) 目名、科名、種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査生物リスト」(令和 7 年 10 月、河川環境データベース)に準拠した。

注 2) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第 3 期 : 「(仮称) 産業廃棄物最終処分場増設事業 (第 3 期) 環境影響調査報告書」(平成 24 年 11 月、仙台環境開発株式会社)

第 4 期 : 「(仮称) 産業廃棄物最終処分場増設事業 (第 4 期) 自然環境影響調査報告書」(平成 29 年 2 月、仙台環境開発株式会社)

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

(2) 哺乳類現地調査結果

表 8-3 現地調査における哺乳類確認種

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
1	モグラ	モグラ	ヒミズ		●					
2			アズマモグラ	●	●	●				
3	コウモリ	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ科の一種 ^{※1}							
			ヤマコウモリ	●	●	●			VU	VU
			ヒナコウモリ							
4			ヒナコウモリ科の一種 ^{※2}			●				
5	ウサギ	ウサギ	ノウサギ			●				
6	ネズミ	リス	ニホンリス	●						
7		ネズミ	ハタネズミ			●				
8			アカネズミ	●	●	●				
-			ネズミ科の一種			●				
9	ネコ	イヌ	タヌキ	●	●	●				
10			キツネ	●		●				
11		イタチ	テン (ホンドテン)			●				
12			ニホンイタチ	●	●					
13		ジャコウネコ	ハクビシン			●				
14	ウシ	イノシシ	イノシシ		●	●				
-	6目	9科	14種	6種	7種	11種	0種	0種	1種	1種

注 1) 目名、科名、種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査生物リスト」(令和 7 年 10 月、河川環境データベース)に準拠した。

注 2) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第 3 期:「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第 3 期)環境影響調査報告書」(平成 24 年 11 月、仙台環境開発株式会社)

第 4 期:「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第 4 期)自然環境影響調査報告書」(平成 29 年 2 月、仙台環境開発株式会社)

※1 ヒナコウモリ科の一種 1 は、確認した周波数のピーク(20kHz 前後)やバットディテクターの入感音、確認環境や分布情報よりヤマコウモリまたはヒナコウモリの可能性が高い。

同科のヒナコウモリ科の一種 2 とは別種の可能性が高いため、種数の合計には計上する。

なお、ヤマコウモリは重要種選定基準ⅢおよびⅣにおいて、VU に該当する。

※2 ヒナコウモリ科の一種 2 は、確認した周波数のピークが 40kHz 前後であった。ヤマコウモリやヒナコウモリを除く、多くのヒナコウモリ科の周波数は 40kHz 前後を含むため、

種を特定することは困難であるが、同科のヒナコウモリ科 1 とは別種である可能性が高いため、種数の合計に計上する。

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-4(1) 現地調査における鳥類確認種(1/2)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
1	カモ	カモ	ハクチョウ属		●					
2			カルガモ	●	●	●				
3	キジ	キジ	キジ	●	●	●				
4	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ			●			NT	VU
5	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	●					VU	
6	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	●	●	●				
7			カッコウ	●						
8	ハト	ハト	カワラバト (ドバト)	●						
9			キジバト	●	●	●				
10	チドリ	チドリ	イカルチドリ			●				VU
11			コチドリ	●	●	●				
12		シギ	ヤマシギ		●					
13	カツオドリ	ウ	カワウ		●	●				
14	ペリカン	サギ	アオサギ	●	●	●				
15			チュウダイサギ			●				
-			アオサギ属の一種	●	●					
16	タカ	ミサゴ	ミサゴ		●	●				
17		タカ	ハイタカ	●	●	●			NT	NT
18			オオタカ		●	●			NT	NT
19			トビ	●	●	●				
20			サシバ	●	●	●			VU	VU
21			ノスリ	●	●	●				
22	フクロウ	フクロウ	フクロウ			●				
23	キツツキ	キツツキ	コゲラ	●	●	●				
24			アカゲラ		●	●				
25			アオゲラ			●				
26	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	●	●	●				
27			ハヤブサ	●	●	●		国内	NT	
28	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ			●				
29		モズ	モズ	●	●	●				
30		カラス	カケス	●	●	●				
31			ハシボソガラス	●	●	●				
32			ハシブトガラス	●	●	●				
33		レンジャク	ヒレンジャク			●				
34		シジュウカラ	ヒガラ		●	●				
35			ヤマガラ		●	●				
36			シジュウカラ	●	●	●				
37		ヒバリ	ヒバリ	●	●	●				
38		ヒヨドリ	ヒヨドリ	●	●	●				
39		ツバメ	ツバメ	●	●	●				
40			イワツバメ			●				
41		ウグイス	ウグイス	●	●	●				
42		エナガ	エナガ	●	●	●				
43		ムシクイ	オオムシクイ			●			EN	
44		ヨシキリ	オオヨシキリ	●	●					
45		メジロ	メジロ	●	●	●				
46		クイタダキ	クイタダキ		●	●				
47		ソウシチョウ	ガビチョウ		●	●				
48		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ			●				
49		ムクドリ	ムクドリ	●	●	●				
50			コムクドリ	●	●	●				
51		ツグミ	シロハラ			●				
52			ツグミ	●	●	●				
53		ヒタキ	コサメビタキ		●					
54			オオルリ			●				
55			ジョウビタキ		●	●				
56			イソヒヨドリ			●				
57		スズメ	スズメ	●	●	●				
58		セキレイ	キセキレイ		●					
59			ハクセキレイ	●	●	●				
60			セグロセキレイ	●	●	●				
61			ビンズイ			●			NT	
62			タヒバリ			●				

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-4(2) 現地調査における鳥類確認種(2/2)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
63	スズメ	アトリ	アトリ	●	●	●				
64			シメ		●	●				
65			イカル	●		●				
66			ウソ			●				
67			ベニマシコ			●				
68			カワラヒワ	●	●	●				
69			マヒワ	●		●				
70		ホオジロ	ホオジロ	●	●	●				
71			カシラダカ	●	●	●			EN	
72			ミヤマホオジロ		●					
73			アオジ	●		●				
-	14目	38科	73種	39種	48種	64種	0種	1種	9種	5種

注1) 目名、科名、種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査生物リスト」(令和7年10月、河川環境データベース)に準拠した。

注2) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第3期:「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第3期)環境影響調査報告書」(平成24年11月、仙台環境開発株式会社)

第4期:「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第4期)自然環境影響調査報告書」(平成29年2月、仙台環境開発株式会社)

表 8-5 現地調査における両生類確認種

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
1	有隣	カナヘビ	ニホンカナヘビ	●		●				
2		ナミヘビ	シマヘビ		●	●				
3			アオダイショウ			●				
4			ヤマカガシ	●	●	●				
-	1目	2科	4種	2種	2種	4種	0種	0種	0種	0種

注1) 目名、科名、種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査生物リスト」(令和7年10月、河川環境データベース)に準拠した。

注2) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第3期:「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第3期)環境影響調査報告書」(平成24年11月、仙台環境開発株式会社)

第4期:「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第4期)自然環境影響調査報告書」(平成29年2月、仙台環境開発株式会社)

表 8-6 現地調査における爬虫類確認種

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
1	有尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	●					NT	NT
－			サンショウウオ属の一種※			●				
			トウホクサンショウウオ						NT	NT
			クロサンショウウオ						NT	NT
2	イモリ	アカハライモリ	●	●	●			NT	LP	
3	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	●	●	●				
4		アカガエル	ニホンアカガエル	●	●	●				
5			トウキョウダルマガエル	●	●	●			NT	NT
6			ウシガエル		●					
7			ムカシツチガエル		●	●				NT
－			アカガエル科の一種	●						
8		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	●	●	●				
－	2目	5科	8種	6種	7種	7種	0種	0種	3種	4種

注1) 目名、科名、種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査生物リスト」(令和7年10月、河川環境データベース)に準拠した。

注2) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第3期:「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第3期)環境影響調査報告書」(平成24年11月、仙台環境開発株式会社)

第4期:「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第4期)自然環境影響調査報告書」(平成29年2月、仙台環境開発株式会社)

※ サンショウウオ属の一種は幼生により確認された。トウホクサンショウウオまたはクロサンショウウオのいずれかであり、重要種選定基準ⅢおよびⅣにおいて、NTに該当する。

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7(1) 現地調査における昆虫類確認種(1/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
1	トビムシ	-	トビムシ目の一種	●	●					
2	イシノミ	イシノミ	イシノミ科の一種		●					
3	カゲロウ	トビイロカゲロウ	トビイロカゲロウ科の一種			●				
4		モンカゲロウ	モンカゲロウ			●				
5		コカゲロウ	コカゲロウ科の一種			●				
6		ヒラタカゲロウ	クロタニガワカゲロウ		●					
7			シロタニガワカゲロウ			●				
8			<i>Epeorus</i> 属の一種		●					
9	トンボ	アオイトトンボ	ホソミオツネントンボ		●	●				
10			アオイトトンボ		●					
11			オオアオイトトンボ			●				
12			オツネントンボ	●	●	●				
13		イトトンボ	キイトトンボ			●				
14			アジアイトトンボ			●				
15		カワトンボ	ニホンカワトンボ	●						
16		ヤンマ	クロスジギンヤンマ			●				
17			ミルンヤンマ			●				
18		サナエトンボ	コサナエ		●					
19		オニヤンマ	オニヤンマ		●	●				
20		トンボ	ハラビロトンボ	●	●	●				
21			シオカラトンボ		●	●				
22			シオヤトンボ		●					
23			オオシオカラトンボ			●				
24			ウスバキトンボ		●					
25			ナツアカネ	●	●	●				
26			マユタテアカネ	●	●	●				
27			アキアカネ		●	●				
28			ノシメトンボ	●	●	●				
29			マイコアカネ		●	●				
30			ミヤマアカネ		●	●				
31	カマキリ	カマキリ	コカマキリ	●	●	●				
32			オオカマキリ		●					
33	ハサミムシ	マルムネハサミムシ	ヒゲジロハサミムシ		●					
34			コバネハサミムシ			●				
35			ハマベハサミムシ			●				
36		クグヌキハサミムシ	コフハサミムシ			●				
37			クグヌキハサミムシ	●	●	●				
38	カワゲラ	オナシカワゲラ	<i>Amphinemura</i> 属の一種		●	●				
39			<i>Nemoura</i> 属の一種		●	●				
40		カワゲラ	カミムラカワゲラ			●				
41		アミメカワゲラ	アミメカワゲラ科の一種		●					
42	バッタ	コロギス	ハネナシコロギス			●				
43			コロギス			●				
44		ツユムシ	ツユムシ		●					
45			アシグロツユムシ			●				
46		キリギリス	ウスイロササキリ		●	●				
47			オナガササキリ		●					
48			ヒメギス		●					
49			<i>Eobiana</i> 属の一種	●						
50			ヒメクサキリ		●					
51			クサキリ		●					
52			<i>Tettigonia</i> 属の一種	●						
53		ケラ	ケラ	●		●				
54		マツムシ	カンタン		●					
55		コオロギ	ハラオカメコオロギ		●	●				
56			エンマコオロギ	●	●	●				
57			ツツレサセコオロギ			●				
58		アリツカコオロギ	アリツカコオロギ科の一種			●				
59		ヒバリモドキ	マダラスズ		●					
60			シバズ		●	●				
61		バッタ	ショウリョウバッタ		●	●				
62			トノサマバッタ		●	●				
63			ナキイナゴ	●						
64			クルマバッタモドキ		●	●				
65			ツマグラバッタ		●					
66			バッタ科の一種	●						
67		イナゴ	コバネイナゴ	●	●	●				
68		オンブバッタ	オンブバッタ	●	●	●				
69		ヒシバッタ	ハネナガヒシバッタ		●					
70			コバネヒシバッタ	●	●	●				
71			ハラヒシバッタ		●	●				
72			<i>Tetrix</i> 属の一種	●						
73			ヒシバッタ科の一種	●						
74	カジリムシ	チャタテ	スジチャタテ	●						
75	カメムシ	アブラムシ	ヌルデシロアブラムシ			●				
76			アブラムシ科の一種		●					
77		ワタフキカイガラムシ	オオワラジカイガラムシ			●				
78		タデキジラミ	<i>Psylla</i> 属の一種		●					
79		キジラミ	ベニキジラミ			●				
80			キジラミ科の一種	●						
81		ヒシウンカ	ヨモギヒシウンカ			●				
82		ウンカ	ヒメトビウンカ	●						
83			ニセトビイロウンカ	●						

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7(2) 現地調査における昆虫類確認種 (2/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
78	カメムシ	ウンカ	セジロウンカ		●					
79			タマガワナガウンカ			●				
-			<i>Stenocranus</i> 属の一種		●					
80		ハネナガウンカ	アカハネナガウンカ		●					
81			アヤヘリハネナガウンカ			●				
82		ハゴロモ	スケバハゴロモ		●					
83			ベッコウハゴロモ	●	●	●				
84		アリヅカウンカ	アリヅカウンカ		●					
85		セミ	エゾゼミ		●	●				
86			アブラゼミ		●	●				
87			ミンミンゼミ		●	●				
88			ツクツクボウシ		●	●				
89			ニイニイゼミ			●				
90			ヒグラシ		●	●				
91		ツノゼミ	ツノゼミ			●				
92			トビイロツノゼミ		●	●				
93			モジツノゼミ		●	●				
94		アワフキムシ	シロオビアワフキ		●	●				
95			モンキアワフキ			●				
96			マダラアワフキ		●					
97			マルアワフキ			●				
98			<i>Peuceptylus</i> 属の一種		●	●				
99		コガシラアワフキムシ	コガシラアワフキ	●		●				
100		トゲアワフキムシ	ムネアカアワフキ			●				
101	ヨコバイ		アオズキンヨコバイ	●						
102			ツマグロオオヨコバイ		●	●				
103			ウスブチミヤクヨコバイ			●				
104			アライヒシモンヨコバイ			●				
105			ヒシモンヨコバイ	●						
106			マエジロオオヨコバイ			●				
107			ミドリヒロヨコバイ		●					
108			コミミズク			●				
109			フタオビハトムネヨコバイ			●				
110			ムツテンウスバヨコバイ	●						
111			ヨツテンウスバヨコバイ	●	●					
112			イネマダラヨコバイ	●						
113			クワキヨコバイ	●						
114			クロヒラタヨコバイ			●				
115			シラホシカシヨコバイ	●						
-			ヨコバイ科の一種	●	●	●				
116		サシガメ	ハネナシサシガメ			●				
117			アカシマサシガメ			●				
118			クロモンサシガメ		●	●				
119			トゲサシガメ			●				
120			アカヘリサシガメ		●	●				
-			サシガメ科の一種		●	●				
121		ゲンバユスデガ	アワダチソウゲンバユスデガ		●	●				
122			チャイログンバイ		●					
123			ナシゲンバイ			●				
124			ツツジゲンバイ			●				
125			トサカゲンバイ			●				
126			ヨモギゲンバイ			●				
127			ヒメゲンバイ			●				
128			クルマゲンバイ			●				
129	ハナカメムシ		カレンクロハナカメムシ			●				
130			コヒメハナカメムシ			●				
131	カスミカメムシ		ツヤヒメハナカメムシ			●				
132			ナカグロカスミカメ	●	●	●				
133			コアオカスミカメ			●				
134			ツマグロアオカスミカメ			●				
-			<i>Apolysus</i> 属の一種		●					
135			ヒメセダカカスミカメ		●	●				
136			マダラカスミカメ		●	●				
137			メンガタカスミカメ		●	●				
138			ホソヒョウタンカスミカメ			●				
139			フタトゲムギカスミカメ			●				
140			アカスジカスミカメ	●	●	●				
141			イネホソミドリカスミカメ	●	●	●				
142		マキバサシガメ	アカマキバサシガメ		●					
143			ハネナガマキバサシガメ		●					
144			キバネアシフトマキバサシガメ		●					
145	ヒラタカメムシ		クロナガヒラタカメムシ			●				
146			イボヒラタカメムシ			●				
147	オオホシカメムシ		ヒメホシカメムシ			●				
148	ホシカメムシ		フタモンホシカメムシ		●					
149			クロホシカメムシ		●	●				
150	ホソヘリカメムシ		ホソヘリカメムシ		●	●				
151	ヘリカメムシ		ホオズキカメムシ			●				
152			ホソハリカメムシ			●				
153			ハリカメムシ		●	●				
154			ヒメトゲヘリカメムシ			●				
155			ハラビロヘリカメムシ	●	●	●				
156			ホシハラビロヘリカメムシ		●	●				

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7(3) 現地調査における昆虫類確認種 (3/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
157	カメムシ	ヘリカメムシ	オオツマキヘリカメムシ	●	●	●				
158			オオヘリカメムシ		●					
159			キバラヘリカメムシ		●					
160		ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ			●				
161			アカヒメヘリカメムシ		●					
162			ケブカヒメヘリカメムシ		●	●				
163			コブチヒメヘリカメムシ			●				
164			ブチヒメヘリカメムシ			●				
-			<i>Stictopleurus</i> 属の一種		●					
165		ナガカメムシ	<i>Cymus</i> 属の一種		●					
166			コバネナガカメムシ		●					
167			ヒメオオメナガカメムシ	●	●					
168			オオメナガカメムシ	●						
169			キベリヒョウタンナガカメムシ			●				
170			チャイロナガカメムシ		●	●				
171			ヒメナガカメムシ		●	●				
172			シロヘリナガカメムシ		●	●				
173			ムラサキナガカメムシ		●					
174			チビナガカメムシ			●				
175			コバネヒョウタンナガカメムシ		●	●				
176		メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ		●	●				
177		ツノカメムシ	フトハサミツノカメムシ		●					
178			セアカツノカメムシ		●					
179			ヒメハサミツノカメムシ			●				
180			ハサミツノカメムシ			●				
181			ヒメツノカメムシ		●					
182			エサキモンキツノカメムシ		●	●				
183		ツチカメムシ	ミツボシツチカメムシ	●	●	●				
184			ヒメツヤツチカメムシ		●					
185			ヒメツチカメムシ		●					
186			ツチカメムシ			●				
187		カメムシ	シロヘリカメムシ		●					
188			トゲカメムシ		●	●				
189			アオクチフトカメムシ			●				
190			ブチヒゲカメムシ		●	●				
191			ナガメ		●	●				
192			オオトゲシラホシカメムシ		●	●				
193			クサギカメムシ		●	●				
194			ヨツボシカメムシ		●	●				
195			ナカボシカメムシ		●					
196			ツマジロカメムシ		●					
197			アオクサカメムシ			●				
198			エゾアオカメムシ			●				
199			クチフトカメムシ		●					
200			イチモンジカメムシ			●				
201			チャバネアオカメムシ			●				
202			オオクロカメムシ		●					
203			ヒメクロカメムシ			●				
204			ルリクチフトカメムシ			●				
205		マルカメムシ	マルカメムシ		●	●				
206		アメンボ	コセアカアメンボ		●	●				
207			ヒメアメンボ		●	●				
208		カタビロアメンボ	カタビロアメンボ科の一種			●				
209		ミズムシ	ハイイロチビミズムシ			●				
210			ハラグロコミズムシ	●		●				
-			<i>Sigara</i> 属の一種	●	●					
211		コオイムシ	コオイムシ		●	●			NT	NT
212			オオコオイムシ	●	●					
213		タイコウチ	ミズカマキリ		●					
214		マツモムシ	マツモムシ	●	●	●				
215	ヘビトンボ	センブリ	トウホククロセンブリ			●				
216	アミメカゲロウ	ヒロバカゲロウ	ヒロバカゲロウ		●					
217		ミズカゲロウ	ミズカゲロウ			●				
218		クサカゲロウ	ヨツボシクサカゲロウ			●				
219			ヤマトクサカゲロウ		●	●				
220		ツノトンボ	キバネツノトンボ			●				VU
221	シリアゲムシ	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ	●	●					
222			ブライアシリアゲ		●					
223	トビケラ	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ			●				
-			<i>Cheumatopsyche</i> 属の一種	●						
224			ウルマーシマトビケラ			●				
-			<i>Hydropsyche</i> 属の一種			●				
225		カワトビケラ	<i>Dolophioides</i> 属の一種	●						
226		ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ			●				
227			チャバネヒゲナガカワトビケラ	●						
228		ナガレトビケラ	ヒロアタマナガレトビケラ	●						
-			<i>Rhyacophila</i> 属の一種			●				
229		ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ			●				
230			ゴマダラヒゲナガトビケラ	●						
231			<i>Setodes</i> 属の一種	●						
-			ヒゲナガトビケラ科の一種			●				
232		エグリトビケラ	<i>Nothopsyche</i> 属の一種		●					
233		トビケラ	ツマグロトビケラ			●				

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7(4) 現地調査における昆虫類確認種(4/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
234	チョウ	ヒゲナガガ	ゴマフヒゲナガ			●				
235		ヒロズコガ	マダラマルハヒロズコガ			●				
236		ホソガ	タデキボシホソガ			●				
237		コナガ	コナガ		●					
238		ヒラタマルハキバガ	ヨモギヒラタマルハキバガ			●				
239		ヒロバキバガ	ツガヒロバキバガ			●				
240		マルハキバガ	ホソオビコマルハキバガ			●				
241		ヒゲナガキバガ	クロカクバネヒゲナガキバガ			●				
242		ツツミノガ	キンバネツツミノガ			●				
-			<i>Coleophora</i> 属の一種			●				
243		ミツボシキバガ	ミツボシキバガ	●		●				
244		キバガ	イモキバガ		●					
245			オオトガリキバガ			●				
-			キバガ科の一種			●				
246		スカシバガ	キクビスカシバ		●					
247			コスカシバ		●					
248		イラガ	クロフテングイラガ			●				
249			ナシイラガ			●				
250		マダラガ	キスジホソマダラ		●					
251			ヤホシホソマダラ		●				NT	
252			シロシタホタルガ			●				
253		ハマキガ	セモンカギバヒメハマキ	●						
254			ウスアトキハマキ			●				
255			アトボシハマキ			●				
256			アカスジキイロハマキ		●	●				
257			ホソバハイロハマキ			●				
258			ヨモギネムシガ			●				
259			スギヒメハマキ			●				
260			ヒロオビヒメハマキ			●				
261			コホソスジハマキ	●		●				
262			クローバヒメハマキ	●	●	●				
263			トビハマキ			●				
264			ツマベニヒメハマキ			●				
265		ハマキモドキガ	ゴボウハマキモドキ			●				
266		トリバガ	ブドウオオトリバ			●				
267			キンバネチトリバ			●				
268			トキンソウトリバ			●				
269		セセリチョウ	ダイミョウセセリ		●					
270			ミヤマセセリ		●					
271			イチモンジセセリ		●	●				
272			チャバネセセリ		●	●				
273			オオチャバネセセリ	●	●					
274			キマダラセセリ	●						
275			コチャバネセセリ		●					
276		シジミチョウ	ムラサキシジミ			●				
277			コツバメ			●				
278			ルリシジミ	●	●	●				
279			ウラギンシジミ		●	●				
280			ツバメシジミ	●	●	●				
281			ウラナミシジミ			●				
282			ベニシジミ	●	●	●				
283			トラフシジミ		●					
284			ゴイシシジミ		●					
285			ヤマトシジミ本土亜種	●	●	●				
286		タテハチョウ	ツマグロヒョウモン			●				
287			オオウラギンシジミヒョウモン	●						
288			ウラギンヒョウモン			●				
289			ゴマダラチョウ本土亜種			●				
290			ルリタテハ本土亜種			●				
291			クロヒカゲ本土亜種	●	●	●				
292			ヒカゲチョウ		●					
293			テングチョウ日本本土亜種		●					
294			イチモンジチョウ	●	●	●				
295			ジャノメチョウ		●	●				
296			コジャノメ			●				
297			ヒメジャノメ		●					
298			サトキマダラヒカゲ		●					
299			コミスジ本州以南亜種		●	●				
300			ヒオドシチョウ			●				
301			キタテハ		●	●				
302			ヒメアカタテハ		●	●				
303			アカタテハ		●	●				
304			ヒメウラナミジャノメ	●	●	●				
305		アゲハチョウ	カラスアゲハ本土亜種			●				
306			キアゲハ		●	●				
307			クロアゲハ本土亜種	●	●	●				
308			アゲハ		●	●				
309		シロチョウ	ウスバシロチョウ		●					
310			モンキチョウ	●	●	●				
311			キタキチョウ	●	●	●				
312			スジグロシロチョウ		●					
313			ヤマトスジグロシロチョウ本州中・南部亜種	●						
314			モンシロチョウ	●	●	●				

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7 (5) 現地調査における昆虫類確認種 (5/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
315	チョウ	ツトガ	シロモンクロノメイガ本州亜種		●					
316			ツトガ	●		●				
317			アカウスグロノメイガ			●				
318			サツマトガ	●						
319			シロツトガ			●				
320			ヨシツトガ			●				
321			テンスジツトガ	●						
322			キアヤヒメノメイガ			●				
323			シロアヤヒメノメイガ			●				
324			マエベニノメイガ		●					
325			スカシノメイガ		●					
326			クロヘリキノメイガ			●				
327			ミツテンノメイガ		●	●				
328			チビツトガ			●				
329			ホシオビホソノメイガ		●					
330			ワモンノメイガ		●					
331			アワノメイガ		●					
332			ユウグモノメイガ		●					
333			シバツトガ			●				
334			シロオビノメイガ		●	●				
335		メイガ	ウスオビトガリメイガ			●				
336			イタヤマダラメイガ			●				
337			アカフツツリガ	●		●				
338			サンカクマダラメイガ			●				
339			アカマダラメイガ	●	●	●				
340			ナカトビフトメイガ			●				
341			ネアオフトメイガ		●	●				
342			マエジロホソマダラメイガ			●				
343			ヒメアカマダラメイガ			●				
344			チビマダラマダガ			●				
345		マドガ	マドガ		●					
346			ヒメウスベニトガリバ			●				
347		カギバガ	アゲハモドキ		●					
348		シャクガ	クロマダラエダシャク		●					
349			ユウマダラエダシャク			●				
350			クロクモエダシャク			●				
351			ヨモギエダシャク本州以南亜種			●				
352			アトグロアミエダシャク	●						
353			ギンスジエダシャク	●						
354			フタテンオエダシャク		●					
355			ホソバハラアカアオシャク			●				
356			ハスオビエダシャク			●				
357			ウスジロエダシャク			●				
358			モミジツマキリエダシャク		●					
359			フタシロスジナミシャク		●					
360			キマダラオオナミシャク		●					
361			カギシロスジアオシャク		●					
362			ハラアカヒメアオシャク		●					
363			チビヒメナミシャク			●				
364			ウスキヒメシャク		●					
365			クロテントビヒメシャク		●					
366			ベニヒメシャク			●				
367			ナカジロナミシャク			●				
368			ウスクモエダシャク			●				
369			マエキトビエダシャク		●	●				
370			トビスジヒメナミシャク	●						
371			クロスジフユエダシャク		●					
372			ウラモンアカエダシャク			●				
373			タテスジナミシャク			●				
374			フタスジオエダシャク			●				
375			クロテンシロヒメシャク		●	●				
376			ハイイロヒメシャク			●				
377			マエキヒメシャク			●				
378			キナミシロヒメシャク		●					
379			アメイロヒメシャク		●					
380			ハグルマエダシャク	●						
381			ベニスジヒメシャク		●	●				
382			フトジマナミシャク		●					
383		カイコガ	クワコ		●					
384		ヤママユガ	オオミズアオ本土亜種			●				
385			ヤママユ本土亜種			●				
386		スズメガ	エビガラスズメ			●				
387			ホシヒメホウジャク			●				
388			ウチスズメ			●				
389			コスズメ			●				
390			セスジスズメ		●					
391		シャチホコガ	バイバラシロシャチホコ			●				
392			シロシャチホコ			●				
393			カバイロモクメシャチホコ			●				
394		ヒトリガ	カノコガ	●	●					
395			ヒトリガ	●						
396			シロヒトリ		●	●				
397			ムジホソバ		●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7(6) 現地調査における昆虫類確認種 (6/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
398	チョウ	ヒトリガ	ハガタキコケガ			●				
399			クロミヤクホソバ	●						
400			アマヒトリ			●				
401			キハラゴマダラヒトリ			●				
402			アカハラゴマダラヒトリ			●				
403			ゴマダラキコケガ	●	●					
404		ドクガ	キアシドクガ			●				
405			ナシケンモン			●				
406		ヤガ	カブラヤガ			●				
407			カラスヨトウ			●				
408			クロテンカバアツバ			●				
409			ウリキンウワバ		●					
410			アカモクメヨトウ			●				
411			フクラスズメ			●				
412			テンウスイロヨトウ			●				
413			クロハナコヤガ			●				
414			トラガ	●	●					
415			テンスジキリガ		●					
416			エゾギクキンウワバ			●				
417			オオバコヤガ		●					
418			ギンスジキンウワバ		●					
419			ツメクサガ	●	●	●				
420			ウスキミスジアツバ			●				
421			クロクモヤガ		●					
422			オオシラナミアツバ			●				
423			シロエグリコヤガ			●				
424			ヒロオビウスダクロアツバ			●				
425			ミツボシアツバ	●						
426			ホソバアツバ	●	●					
427			ミジンアツバ			●				
428			コウスダクロアツバ			●				
429			ウラジロアツバ	●						
430			シロホシクロアツバ			●				
431			クビダクロキバ	●						
432			ウスオビアツバモドキ			●				
433			ニセウンモンクチャ		●					
434			ウンモンクチャ			●				
435			フタオビキヨトウ			●				
436			フタオビコヤガ	●						
437			ウンモンツマキリアツバ		●					
438			ウスダクロセニジモンアツバ			●				
439			イネキンウワバ		●					
440			テンクロアツバ		●	●				
441			ハスオビヒメアツバ			●				
442			イネヨトウ	●		●				
443			スジキリヨトウ	●		●				
444			ウスシロフコヤガ			●				
445			ノコメトガリキリガ		●					
446			ヒメコブヒゲアツバ			●				
447			ハイイロキシタヤガ			●				
448			マエキヤガ			●				
449		コブガ	ベニモンアオリンガ			●				
450			クロスジシロコブガ	●						
451	ハエ	ヒメガガンボ	Antocha 属の一種		●					
452			Erioptera 属の一種	●	●					
453			ミスジガガンボ	●						
454		ガガンボ	Limonia 属の一種	●	●					
455			Ctenophora 属の一種		●					
456			Nephrotoma 属の一種	●	●	●				
457			キリウジガガンボ	●	●					
458			ヤチノコギリガガンボ	●						
-			Tipula 属の一種	●		●				
-			ガガンボ科の一種	●						
459		トゲナシケバエ	ヒメセアカケバエ	●	●					
460		ナミキノコバエ	ナミキノコバエ科の一種	●	●	●				
461		クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科の一種	●	●	●				
462		タマバエ	タマバエ科の一種			●				
463		ガガンボダマシ	Trichocera 属の一種		●					
464		ニセケバエ	ニセケバエ科の一種		●					
465		カ	Aedes 属の一種	●						
466		ユスリカ	セスジユスリカ	●						
467			Cricotopus 属の一種	●						
468			Procladius 属の一種	●						
-			ユスリカ科の一種	●		●				
469		ケバエ	メスアカケバエ		●					
470			ハダクロケバエ		●	●				
-			Bibio 属の一種	●	●					
471		ノミバエ	ノミバエ科の一種	●						
472		アタマアブ	アタマアブ科の一種			●				
473		ナガスヤセバエ	Stypocladus 属の一種		●					
474		ハネフリバエ	ルリバエ	●	●					
475		シマバエ	Homoneura 属の一種		●					
476			Minettia 属の一種	●						

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7(7) 現地調査における昆虫類確認種(7/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
477	ハエ	シマバエ	<i>Steganopsis</i> 属の一種		●					
478		キモグリバエ	<i>Meromyza</i> 属の一種	●						
479			ヒゲブトキモグリバエ	●						
480		フンコバエ	フンコバエ科の一種	●						
481	ミズアブ		<i>Actina</i> 属の一種		●					
482			ネグロミズアブ		●					
483			アメリカミズアブ		●					
484			ハラキンミズアブ	●	●					
485			コウカアブ		●					
486			ルリミズアブ		●	●				
487		アブ	ニッポンシロフアブ	●						
488			ウシアブ		●					
489		ムシヒキアブ	クロスジシシアブ			●				
-			<i>Choerades</i> 属の一種		●					
490			アオメアブ	●	●	●				
491			チャイロムシヒキ	●						
492			オオイシアブ			●				
493			ミノモホソムシヒキ			●				
494			ナミマガリケムシヒキ		●	●				
495			シロズヒメムシヒキ			●				
496			シオヤアブ		●					
-			ムシヒキアブ科の一種		●					
497		ツリアブ	ピロウドツリアブ		●	●				
498			ニトベハラボソツリアブ		●					
499	アシナガバエ		スキバツリアブ		●					
500			<i>Chrysotus</i> 属の一種	●						
501			<i>Condyllostylus</i> 属の一種			●				
502			<i>Dolichopus</i> 属の一種	●	●					
-	オドリバエ		アシナガバエ科の一種	●		●				
503			オドリバエ科の一種			●				
504	ハナアブ		マダラコシボソハナアブ			●				
505			クロヒラタアブ			●				
506			キスネクロハナアブ			●				
-			<i>Cheilosia</i> 属の一種		●					
507			ホソヒラタアブ	●	●	●				
508			ホシメハナアブ		●					
509			シマハナアブ	●	●	●				
510			キョウコシマハナアブ		●					
511			ナミハナアブ	●	●	●				
512			ナミホシヒラタアブ		●					
513			フタホシヒラタアブ		●	●				
514			アシフトハナアブ		●	●				
515			ツヤヒラタアブ			●				
516			ホシツヤヒラタアブ	●	●					
517			カルマイツヤタマヒラタアブ		●					
518			キアシマヒラタアブ		●	●				
519			ノヒラマヒラタアブ			●				
520			クチグロヒラタアブ		●					
521			オオハナアブ		●	●				
522			ミナミヒメヒラタアブ	●	●	●				
523			ホソヒメヒラタアブ	●	●	●				
524			モモフトチビハナアブ	●	●	●				
525			マガイヒラタアブ			●				
526			オオフタホシヒラタアブ		●					
-			<i>Syrphus</i> 属の一種		●					
527			<i>Xylota</i> 属の一種		●					
528	ショウジョウバエ		<i>Scaptomyza</i> 属の一種	●						
529			<i>Stegana</i> 属の一種			●				
530	ミギワバエ		<i>Psilopa</i> 属の一種	●						
531			<i>Scatella</i> 属の一種	●						
532	ヤチバエ		ヒラウキブネミギワバエ	●						
533			ヒゲナガヤチバエ		●	●				
-	ツヤホソバエ		<i>Sepedon</i> 属の一種		●					
534			ヒトテンツヤホソバエ	●	●					
-	ミバエ		<i>Sepsis</i> 属の一種		●	●				
535			カボチャミバエ		●					
536			ヒラヤマアミメケブカミバエ			●				
537	フンバエ		オグルマケブカミバエ		●					
538			ヒメフンバエ	●	●					
539			ニセキバネフンバエ		●					
540	ハナバエ		タネバエ	●	●					
541			オオクロバエ		●					
542			ホホグロオビキンバエ		●					
543			コガネキンバエ		●					
-			<i>Lucilia</i> 属の一種	●	●					
544	イエバエ		ツマグロキンバエ		●	●				
545			アシマダラハナレメイバエ	●						
-			<i>Coenosia</i> 属の一種	●	●					
546			セマダライバエ		●					
547			<i>Helina</i> 属の一種		●					
548			キタミズギワイバエ	●						
549			<i>Phaonia</i> 属の一種		●					
550			サシバエ		●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7 (8) 現地調査における昆虫類確認種 (8/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
-	ハエ	イエバエ	イエバエ科の一種	●		●				
551		ニクバエ	ニクバエ科の一種		●	●				
552		ヤドリバエ	<i>Cylindromyia</i> 属の一種		●					
553			<i>Gymnochaeta</i> 属の一種	●						
554			<i>Linnaemya</i> 属の一種		●					
555			<i>Pales</i> 属の一種		●					
556			<i>Phasia</i> 属の一種		●					
557			ヨコジマオオハリバエ		●					
-			<i>Tachina</i> 属の一種		●					
-			ヤドリバエ科の一種	●	●	●				
558			ミイデラゴミムシ			●				
559	コウチュウ	ホソクビゴミムシ オサムシ	キイロチビゴモクムシ	●						
560			アシミソヒメヒラタゴミムシ	●						
561			マルガタゴミムシ	●	●	●				
562			ニセマルガタゴミムシ		●	●				
563			アカアシマルガタゴミムシ		●	●				
564			ナガマルガタゴミムシ		●	●				
565			コマルガタゴミムシ		●					
-			<i>Amara</i> 属の一種	●	●	●				
566			ホシボシゴミムシ		●	●				
567			ゴミムシ	●	●	●				
568			ヒメゴミムシ			●				
569			キベリゴモクムシ	●						
570			ヨツボシミズギウゴミムシ	●						
571			キモンナガミズギウゴミムシ			●				
572			チビヒメゴモクムシ	●		●				
573			セアカオサムシ			●			NT	NT
574			アカガネアオゴミムシ			●				
575			オオアトボシアオゴミムシ		●	●				
576			アトボシアオゴミムシ		●	●				
577			アオゴミムシ	●	●	●				
578			キボシアオゴミムシ	●	●	●				
579			アトワアオゴミムシ			●				
580			クロモリヒラタゴミムシ	●						
581			オオアオモリヒラタゴミムシ			●				
582			ミズギワアトキリゴミムシ		●					
583			オオスナハラゴミムシ			●				
584			セアカヒラタゴミムシ	●	●	●				
585			ベーツホソアトキリゴミムシ			●				
586			イクビホソアトキリゴミムシ			●				
587			オオキベリアオゴミムシ			●				
588			オオズケゴモクムシ		●	●				
589			ケウスゴモクムシ			●				
590			ヒメケゴモクムシ	●	●	●				
591			クロゴモクムシ		●	●				
592			ニセケゴモクムシ			●				
593			ウスアカクロゴモクムシ	●	●	●				
594			アカアシマルガタゴモクムシ		●	●				
595			コゴモクムシ		●					
596			ケゴモクムシ		●					
597			キクビアオアトキリゴミムシ		●	●				
598			フタホシアトキリゴミムシ		●					
599			コルリアトキリゴミムシ			●				
600			アトオビコムズギウゴミムシ			●				
601			クロオビコムズギウゴミムシ			●				
602			クロズホナシゴミムシ	●						
603			ヒロムネナガゴミムシ		●					
604			トックリナガゴミムシ		●	●				
605			キンナガゴミムシ	●	●	●				
606			アシミソナガゴミムシ		●					
-			<i>Pterostichus</i> 属の一種	●						
607			マメゴモクムシ		●					
608			ツヤマメゴモクムシ			●				
609			マルガタツヤヒラタゴミムシ		●					
610			クロツヤヒラタゴミムシ		●					
611			オオクロツヤヒラタゴミムシ		●	●				
612			ヒラタコムズギウゴミムシ			●				
613			ヨツモンコムズギウゴミムシ	●		●				
614			ムラサキオオゴミムシ			●				
-			オサムシ科の一種	●	●					
615		ハンミョウ	ニワハンミョウ			●				
616			エリザハンミョウ			●				
617			コハンミョウ			●				
618		ゲンゴロウ	ホソセシゲンゴロウ	●		●				
-			<i>Copeletus</i> 属の一種	●						
619			コシマゲンゴロウ			●				
620			チビゲンゴロウ	●						
621			ヒメゲンゴロウ	●	●	●				
622		コガシラミズムシ ガムシ	コガシラミズムシ	●		●				
623			トゲバゴマフガムシ	●		●				
624			ウスモンケシガムシ	●		●				
625			アカケシガムシ	●		●				
626			キバネケシガムシ	●		●				

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7 (9) 現地調査における昆虫類確認種 (9/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
-	コウチュウ	ガムシ	Cercyon属の一種	●		●				
627			ヒメセマルガムシ			●				
628			キベリヒラタガムシ	●						
629			キイロヒラタガムシ			●				
630			コガムシ	●	●	●			DD	
631			エソコガムシ			●			NT	
632			ガムシ	●					NT	
633		エンマムシ	ツヤマルエンマムシ	●						
634			エンマムシ			●				
635			キノコアカマルエンマムシ			●				
636		シデムシ	オオヒラタシデムシ	●	●	●				
637			モモボトシデムシ	●						
638		ハネカクシ	ムネビロハネカクシ			●				
639			Carpelimus属の一種			●				
640			Gabrius属の一種			●				
641			アカアシオオメツヤムネハネカクシ		●					
642			Lathrobium属の一種			●				
643			クロストガリハネカクシ	●		●				
644			Lordithon属の一種			●				
645			アカバヒメホソハネカクシ			●				
646			ツマアカカワベナガエハネカクシ			●				
647			アロウハネナガヨツメハネカクシ		●					
648			ハスオビオオキハネカクシ			●				
649			Oxytelus属の一種		●					
650			アオバアリガタハネカクシ	●						
651			Pella属の一種			●				
652			Philonthus属の一種			●				
653			クロガネトガリオオズハネカクシ			●				
654			カラカネトガリオオズハネカクシ			●				
655			ヒメアカバトガリオオズハネカクシ		●					
656			Platystethus属の一種			●				
657			ナミツヤムネハネカクシ			●				
658			ホソフタホシメダカハネカクシ		●					
659			キベリマルクビハネカクシ		●					
660			クロズシリホソハネカクシ		●					
661			シロヒゲアリスハネカクシ	●						
-			Zyras属の一種			●				
-			ハネカクシ科の一種	●	●					
662		マルハナノミダマシ	ツマアカマルハナノミダマシ			●				
663		マルハナノミ	チャイロチビマルハナノミ			●				
664			トビイロマルハナノミ		●					
665		クシヒゲムシ	クチキクシヒゲムシ			●				
666		ムネアカセンテコガネ	ムネアカセンテコガネ		●					
667		センテコガネ	センテコガネ			●				
668		クワガタムシ	スジクワガタ		●	●				
669			ミヤマクワガタ		●	●				
670			ノコギリクワガタ			●				
671		コガネムシ	コイチャコガネ	●		●				
672			ドウガネブイブイ			●				
673			サクラコガネ			●				
674			ヒラタアオコガネ			●				
675			ヒメコガネ		●	●				
676			コマグソコガネ			●				
677			ウスイロマグソコガネ	●						
678			セマダラコガネ			●				
679			コアオハナムグリ	●	●	●				
680			ナガチャコガネ			●				
681			クロコガネ			●				
682			オオクロコガネ			●				
683			コクロコガネ		●					
684			アカビロウドコガネ			●				
685			ヒメビロウドコガネ	●	●	●				
686			オオビロウドコガネ			●				
687			オオスジコガネ		●					
688			ヒラタハナムグリ		●	●				
689			ウスチャコガネ	●						
690			マメコガネ	●	●	●				
691			シロテンハナムグリ	●						
692			カナブン		●	●				
693			クロカナブン		●					
694			カブトムシ		●					
695		マルトゲムシ	ミナミケモンマルトゲムシ			●				
696		ヒメドロムシ	キスジミゾドロムシ			●				
697		ヒラタドロムシ	チビマルヒゲナガハナノミ			●				
698			ヒラタドロムシ			●				
699		タマムシ	ホソアシナガタマムシ			●				
700			シロオビナカボソタマムシ		●	●				
701			クズノチビタマムシ			●				
702			ヤナギチビタマムシ		●	●				
703			アカガネチビタマムシ			●				
704			ヤノナミガタチビタマムシ			●				
705		コメツキムシ	Actenicerus属の一種			●				
706			サビキコリ	●	●	●				

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7(10) 現地調査における昆虫類確認種(10/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
707	コウチュウ	コメツキムシ	ヒメサビキコリ			●				
708			アカハラクロコメツキ		●					
709			ベニコメツキ	●						
710			クチボソコメツキ			●				
711			ルリツヤハダコメツキ			●				
712			オオサビコメツキ			●				
713			メダカツヤハダコメツキ			●				
714			クシコメツキ			●				
715			ヒゲナガコメツキ	●						
716			コハナコメツキ			●				
717			ヒゲコメツキ			●				
718			マダラチビコメツキ	●	●					
719			ヒラタクシコメツキ			●				
720			オオツヤハダコメツキ			●				
721		コメツキダマシ	トゲナカミゾコメツキダマシ			●				
722		ジョウカイボン	<i>Asiagopodabrus</i> 属の一種		●	●				
723			ムネアカフトジョウカイ		●					
724			ムネアカクロジョウカイ			●				
725			ウスチャジョウカイ			●				
726			イシハラジョウカイ		●					
727			ジョウカイボン	●	●	●				
728			アオジョウカイ	●						
729		ホタル	オハボタル			●				
730		ベニボタル	ヒメクロハナボタル			●				
731		カツオブシムシ	ヒメマルカツオブシムシ			●				
732		シバンムシ	ツツガタシバンムシ			●				
733			セスジタワラシバンムシ			●				
734		ジョウカイモドキ	キアシオビジョウカイモドキ			●				
735			ツマキアオジョウカイモドキ		●	●				
736		コクヌスト	オオコクヌスト		●					
737		テントウムシ	カメノコテントウ			●				
738			ウンモンテントウ		●					
739			ヒメアカホシテントウ			●				
740			アカホシテントウ			●				
741			ココノホシテントウ		●					
742			ナナホシテントウ	●	●	●				
743			ナミテントウ	●	●	●				
744			オオニジウヤホシテントウ	●	●					
745			ジュウサンホシテントウ		●					
746			フタホシテントウ			●				
747			キイロテントウ	●						
748			ウスキホシテントウ			●				
749			ヒメカメノコテントウ	●	●	●				
750			クロヘリヒメテントウ	●		●				
751			クロヒメテントウ		●					
752			カワムラヒメテントウ			●				
753			コクロヒメテントウ			●				
754		クスイムシ	ケナガセマルクスイ			●				
755			ヨツモンクスイ		●					
756		オオキノコムシ	ミヤマオビオオキノコムシ			●				
757			キベリハバビロオオキノコムシ			●				
758		オオクスイムシ	ムナビロオオクスイ		●					
759			ヨツボシオオクスイ			●				
760		コメツキモドキ	ケナガマルクスイ	●						
761		ヒメマキムシ	クロオビケシマキムシ			●				
762		ネスイムシ	ヤマトネスイ			●				
763		ケシクスイ	クロハナケシクスイ		●					
764			<i>Epuraea</i> 属の一種	●	●					
765			ヨツボシケシクスイ			●				
766			オドリコソウチビケシクスイ			●				
767			ニセアカマダラケシクスイ			●				
768			アカマダラケシクスイ		●					
769			ミツモンセマルヒラタムシ			●				
770		アリモドキ	コクビボソムシ			●				
771			ムナグロホソアリモドキ			●				
772			アカホソアリモドキ	●						
773		クビナガムシ	クビカクシナガクチキムシ			●				
774		ナガクチキムシ	ハガタホソナガクチキ		●					
775			モモキホソナガクチキ		●					
776		ツチハンミョウ	マメハンミョウ		●	●				
777		ハナノミ	カグヤヒメハナノミ			●				
778			クロヒメハナノミ			●				
-			ハナノミ科の一種	●						
779		カミキリモドキ	キイロカミキリモドキ			●				
780			キバナカミキリモドキ			●				
781			モモフトカミキリモドキ	●	●	●				
782		アカハネムシ	ムナビロアカハネムシ		●					
783			ヒメアカハネムシ		●					
784			アカハネムシ		●	●				
785		ハナノミダマシ	クロフナガタハナノミ		●					
786		ゴミムシダマシ	ナミウスイロクチキムシ			●				
787			<i>Arthromacra</i> 属の一種		●					
788			ヨツボシゴミムシダマシ		●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7(11) 現地調査における昆虫類確認種(11/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
789	コウチュウ	ゴミムシダマシ	オオナガニシゴミムシダマシ			●				
790			コスナゴミムシダマシ			●				
791			ムネビロコスナゴミムシダマシ		●	●				
792			カクスナゴミムシダマシ		●					
793			スジコガシラゴミムシダマシ		●	●				
794			オオメキバネハムシダマシ			●				
795			ヒゲトゴミムシダマシ			●				
796			フジナガハムシダマシ		●					
797			ホンドカタモンヒメクチキムシ			●				
798			ヒメキマワリ			●				
799			ニホンキマワリ本土亜種		●	●				
800			モトヨツコフエグリゴミムシダマシ			●				
801		カミキリムシ	ゴマダラカミキリ		●					
802			ヒメスギカミキリ		●					
803			ミドリカミキリ			●				
804			トゲヒゲトラカミキリ		●	●				
805			ヒナリハナカミキリ		●					
806			ホソカミキリ	●		●				
807			シラホシカミキリ			●				
808			クロハナカミキリ		●					
809			ゴマフカミキリ		●					
810			ナガゴマフカミキリ			●				
811			リンゴカミキリ			●				
812			ノコギリカミキリ			●				
813			キボシカミキリ		●					
814			トガリシロオビサビカミキリ			●				
815			アトモンサビカミキリ			●				
816			ナカジロサビカミキリ			●				
817			アトジロサビカミキリ		●					
818			クロカミキリ			●				
819			アカハナカミキリ			●				
820			ヤハズカミキリ			●				
821			ウスイロトラカミキリ			●				
822			ニイジマトラカミキリ			●				
823	ハムシ	ハムシ	キクビアオハムシ		●					
824			アカバナカミナリハムシ			●				
-			<i>Altica</i> 属の一種	●						
825			ツブノミハムシ		●	●				
826			ムナグロツヤハムシ		●					
827			ウリハムシモドキ	●	●	●				
828			ウリハムシ		●	●				
829			クロウリハムシ		●	●				
830			アオバナサルハムシ			●				
831			カメノコハムシ		●					
832			ヒサゴトビハムシ		●					
833			ヨモギハムシ		●	●				
834			ハッカハムシ		●	●				
835			イモサルハムシ		●					
836			ミドリトビハムシ		●					
837			バラリツツハムシ	●	●	●				
838			コヤツボシツツハムシ		●					
839			ヤツボシツツハムシ		●	●				
840			カシワツツハムシ			●				
841			クロボシツツハムシ		●					
842			キベリトゲハムシ			●				
843			カサハラハムシ	●						
844			クワハムシ	●	●	●				
845			アザミオオハムシ		●					
846			イタドリハムシ		●	●				
847			クルミハムシ			●				
848			コガタルリハムシ	●	●	●				
849			フジハムシ		●					
850			ドウガネサルハムシ			●				
851			アカクビボソハムシ			●				
852			ヤマイモハムシ			●				
853			コフキケブカサルハムシ			●				
854			ホタルハムシ			●				
855			ルリマルノミハムシ		●					
856			ドウガネツヤハムシ			●				
857			ブタクサハムシ		●	●				
858			アワクビボソハムシ	●	●	●				
859			ツヤキバナサルハムシ			●				
860			アトボシハムシ		●					
861			ヨツボシハムシ		●					
862			タマアシトビハムシ		●	●				
863			チャバネツヤハムシ			●				
864			キスジノミハムシ		●					
865			ヤナギルリハムシ		●	●				
866			フタホシオオノミハムシ		●					
867			ナトビハムシ			●				
868			サンゴジュハムシ		●					
869			ムナギルリハムシ		●					
870			イチモンジカメノコハムシ			●				

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7(12) 現地調査における昆虫類確認種(12/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
871	コウチュウ	ハムシ	キカサハラハムシ			●				
872			タマカイガラヒゲナガゾウムシ			●				
873		ヒゲナガゾウムシ	エゴヒゲナガゾウムシ			●				DD
874			アカクチホソクチゾウムシ			●				
875		ホソクチゾウムシ	ヒメケブカホソクチゾウムシ			●				
876			チャイロチョッキリ			●				
877		オトシブミ	ウスモンオトシブミ			●				
878			ヒメクロオトシブミ			●				
879			ウスアカオトシブミ		●					
880			エゴツルクピオトシブミ		●	●				
881			ハイイロチョッキリ			●				
882			ナラルリオトシブミ			●				
883			カシルリオトシブミ			●				
884			ヒメケブカチョッキリ		●					
885			クチブトチョッキリ		●					
886			カシルリチョッキリ		●					
887		ゾウムシ	コブハナゾウムシ			●				
888			ユアサハナゾウムシ			●				
889			コゲチャツツゾウムシ			●				
890			ダイコンサルゾウムシ		●					
891			ハスジゾウムシ		●					
892			コナラシギゾウムシ	●						
893			ミドリクチフトゾウムシ	●						
894			ヒメシロコブゾウムシ			●				
895			オオタコゾウムシ		●					
896			コフキゾウムシ		●	●				
897			アシナガオニゾウムシ	●						
898			ハコベタコゾウムシ		●					
899			ツメクサタコゾウムシ		●	●				
900			アルファルファタコゾウムシ			●				
-			Hypera属の一種		●					
901			チャバネキイゾウムシ		●					
902			ケブカクチフトゾウムシ		●					
903			クロホシクチフトゾウムシ			●				
904			ハスジカツオゾウムシ		●	●				
905			カツオゾウムシ			●				
906			キスジアシナガゾウムシ			●				
907			カシワクチフトゾウムシ			●				
908			ムネスジノミゾウムシ			●				
909			オジロアシナガゾウムシ		●	●				
910			ツヤケシヒメゾウムシ			●				
911			ワシバナヒメキイゾウムシ		●					
912			オオクチフトゾウムシ			●				
913			ホソアナアキゾウムシ			●				
914			ケナガスグリゾウムシ			●				
915			ギシギシクチフトサルゾウムシ	●						
916			タデノクチフトサルゾウムシ			●				
917			クワヒョウタンゾウムシ		●					
918			ケチビコフキゾウムシ		●	●				
919			クロノミゾウムシ			●				
920			ツメクサタネコバンゾウムシ			●				
921	ハチ	ミフシハバチ	ニホンチュウレンジ			●				
922		コンボウハバチ	ヒメコンボウハバチ		●					
923		ハバチ	ハグロハバチ			●				
924			ニホンカブラハバチ		●					
925			カブラハバチ		●					
-			Athalia属の一種		●					
926			オスグロハバチ			●				
-			Dolerus属の一種	●	●					
927			Lagidina属の一種	●						
928			Pachyprotasis属の一種			●				
929			Siobla属の一種		●					
930			Strongylogaster属の一種			●				
931			キコシホソハバチ		●					
932			ヒゲナガハバチ亜科の一種			●				
933		アシフトコバチ	キアシフトコバチ		●					
934		アリ	ヤマトアシナガアリ		●					
935			クロオオアリ		●	●				
936			ムネアカオオアリ	●	●	●				
937			ヨツボシオオアリ			●				
938			テラニシシリアゲアリ			●				
939			シベリアカタアリ			●				
940			クロヤマアリ	●	●	●				
941			トビイロケアリ	●	●	●				
942			カワラケアリ		●	●				
943			ヒラアシクサアリ	●	●	●				
944			アメイロケアリ			●				
945			ハラクシケアリ			●				
946			アメイロアリ	●	●	●				
947			アズマオオズアリ			●				
948			アミメアリ	●	●	●				
949			トビイロシワアリ			●				
950		スズメバチ	フタスジスズメバチ		●					

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-7(13) 現地調査における昆虫類確認種(13/13)

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
				第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
951	ハチ	スズメバチ	キボシトックリバチ			●				
952			ミカドトックリバチ		●	●				
953			キアシトックリバチ			●				
954			スズバチ			●				
955			ムモンホソアシナガバチ			●				
956			フタモンアシナガバチ本土亜種		●					
957			キアシナガバチ本土亜種		●	●				
958			コアシナガバチ		●	●				
959			カタグロチビドロバチ			●				
960			コガタスズメバチ		●					
961			モンズスズメバチ			●			DD	
962			チャイロスズメバチ		●					
963			オオスズメバチ			●				
964			キイロスズメバチ		●	●				
965		クモバチ	オオモンクロクモバチ		●					
966			<i>Auplopus</i> 属の一種		●					
967			オオシロフクモバチ		●					
968		コツチバチ	<i>Tiphia</i> 属の一種		●	●				
969		ヒメハナバチ	<i>Andrena</i> 属の一種		●	●				
970		ミツバチ	ニホンミツバチ	●	●	●				
971			セイヨウミツバチ	●	●	●				
972			コマルハナバチ本土亜種		●					
973			トラマルハナバチ本土亜種		●					
974			オオマルハナバチ本土亜種			●				
975			キオビツヤハナバチ	●		●				
976			ヤマトツヤハナバチ			●				
-			<i>Ceratina</i> 属の一種		●					
977			シロスジヒゲナガハナバチ	●	●					
978			<i>Nomada</i> 属の一種		●	●				
979			キムネクマバチ	●	●	●				
980		コハナバチ	アカガネコハナバチ	●	●	●				
-			<i>Halictus</i> 属の一種		●					
981		ハキリバチ	<i>Lasioglossum</i> 属の一種	●	●					
982			<i>Coelioxys</i> 属の一種		●					
983		シリボソクロバチ	<i>Megachile</i> 属の一種		●					
984			シリボソクロバチ科の一種		●					
985		ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種	●	●					
986		コマユバチ	コマユバチ科の一種			●				
987		ヒメバチ	<i>Itoplectis</i> 属の一種		●					
988			<i>Netelia</i> 属の一種		●					
989			<i>Scambus</i> 属の一種		●					
990			<i>Syrphophilus</i> 属の一種		●					
-			ヒメバチ科の一種		●	●				
-	18目	224科	990種	220種	489種	649種	0種	0種	7種	4種

注 1) 目名、科名、種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査生物リスト」(令和 7 年 10 月、河川環境データベース)に準拠した。

注 2) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第 3 期 : 「(仮称) 産業廃棄物最終処分場増設事業 (第 3 期) 環境影響調査報告書」(平成 24 年 11 月、仙台環境開発株式会社)

第 4 期 : 「(仮称) 産業廃棄物最終処分場増設事業 (第 4 期) 自然環境影響調査報告書」(平成 29 年 2 月、仙台環境開発株式会社)

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-8 現地調査における魚類確認種

No.	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				
				第3期	第4期	第5期	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類※ ¹			●					
			ミナミスナヤツメ							VU	NT
			キタスナヤツメ							VU	DD
2	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ			●			EN	NT	
3	コイ	コイ	オイカワ			●					
4			アブラハヤ			●					
5			ウグイ			●					
6			ドジョウ	ドジョウ類※ ²	●	●	●				
	ドジョウ								NT		
	キタドジョウ								DD	DD	
7		ヒガシシマドジョウ			●						
8			フクドジョウ	ホトケドジョウ	●	●			EN	NT	
9			ナマズ	ギギ	ギバチ			●		VU	NT
10			サケ	サケ	サクラマス（ヤマメ）			●		NT	
11	スズキ	カジカ	カジカ			●			NT		
12		ハゼ	オオヨシノボリ			●					
13			トウヨシノボリ種群			●					
－	6目	9科	13種	2種	2種	12種	0種	0種	7種	5種	

注 1) 目名、科名、種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査生物リスト」（令和 7 年 10 月、河川環境データベース）に準拠した。

注 2) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第 3 期：「（仮称）産業廃棄物最終処分場増設事業（第 3 期）環境影響調査報告書」（平成 24 年 11 月、仙台環境開発株式会社）

第 4 期：「（仮称）産業廃棄物最終処分場増設事業（第 4 期）自然環境影響調査報告書」（平成 29 年 2 月、仙台環境開発株式会社）

※1 スナヤツメ類は、調査地域においてはミナミスナヤツメまたはキタスナヤツメのいずれかであり、重要種選定基準Ⅲにおいて VU に該当するほか、重要種選定基準Ⅳにおいてミナミスナヤツメは NT、キタスナヤツメは DD に該当する。

※2 ドジョウ類は、調査地域においてはドジョウまたはキタドジョウのいずれかであり、重要種選定基準Ⅲにおいてドジョウは NT、キタドジョウは DD に該当するほか、重要種選定基準Ⅳにおいてキタドジョウは DD に該当する。

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-9(1) 現地調査における底生動物確認種(1/3)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準				
						第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV	
1	扁形動物 軟体動物	有棒状体	三岐腸	サンカクアタマウズムシ	ナミウズムシ			●					
2			ドブシジミ	ドブシジミ	マメシジミ属の一種			●					
3		腹足	マルスダレガイ	シジミ	シジミ属の一種			●					
4			オニノツノガイ	カウニナ	カウニナ属の一種			●					
5			エゾタマキビ	ミズツボ	コモチカワツボ			●					
6			モノアラガイ	モノアラガイ	コシダカヒメモノアラガイ			●			DD		
7					モノアラガイ			●			NT		
8				ヒラマキガイ	カワコザラガイ属の一種		●	●					
9					ヒラマキガイ属の一種			●					
10				サカマキガイ	サカマキガイ		●	●					
11	環形動物	ミミズ	オヨギミミズ	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種			●					
12			ヒメミミズ	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種			●					
13			イトミミズ	ミズミミズ	ユリミミズ			●					
14					ナミミズミミズ			●					
15					ミズミミズ属の一種	●		●					
16					クロオビミズミミズ			●					
17					ハヤセミズミミズ			●					
18					ミズミミズ科の一種		●	●					
19				厚環帯	ツリミミズ	ツリミミズ科の一種			●				
20					フトミミズ	フトミミズ科の一種			●				
21		ヒル	吻無蛭	イシビル	シマイシビル	●	●	●					
22			軟甲	ワラジムシ	ミズムシ (甲)	ミズムシ			●				
23		節足動物	エビ		ヌマエビ	ヌカエビ			●				
24						ヌマエビ属の一種			●				
25						テナガエビ	スジエビ			●			
26						アメリカザリガニ	アメリカザリガニ			●			
27						サワガニ	サワガニ	●	●	●			
28						モクズガニ	モクズガニ			●			
29	昆虫				カゲロウ	トビイロカゲロウ	ヒメトビイロカゲロウ			●			
30							トビイロカゲロウ属の一種			●			
31			カワカゲロウ	キイロカワカゲロウ				●					
32			モンカゲロウ	モンカゲロウ		●		●					
33			ヒメシロカゲロウ	ヒメシロカゲロウ属の一種				●					
34			マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ			●	●					
35				クロマダラカゲロウ				●					
36				オオマダラカゲロウ				●					
37				ヨシノマダラカゲロウ				●					
38				フタマタマダラカゲロウ				●					
39				トゲマダラカゲロウ属の一種				●					
40				シリナガマダラカゲロウ				●					
41				クシゲマダラカゲロウ				●					
42				マダラカゲロウ属の一種				●					
43				アカマダラカゲロウ				●					
44				エラブタマダラカゲロウ				●					
45				ヒメフタオカゲロウ		ヒメフタオカゲロウ属の一種			●				
46				コカゲロウ		ミツオミジカオフタバコカゲロウ			●				
47						ミジカオフタバコカゲロウ			●				
48						ヨシノコカゲロウ			●				
49						フタバコカゲロウ			●				
50						サホコカゲロウ		●	●				
51						フタモンコカゲロウ		●	●				
52						シロハラコカゲロウ		●	●				
53						コカゲロウ属の一種			●				
54						フタバカゲロウ属の一種			●				
55						ウスイロフトヒゲコカゲロウ			●				
56						トゲエラトビイロコカゲロウ			●				
57						0コカゲロウ			●				
58						ヒメウスバコカゲロウ属の一種			●				
59						ウデマギリコカゲロウ			●				
60						コバネヒゲトガリコカゲロウ			●				
61				フタオカゲロウ		フタオカゲロウ属の一種		●	●				
62				チラカゲロウ		チラカゲロウ			●				
63				ヒラタカゲロウ		ミヤマタニガワカゲロウ属の一種			●				
64						キブネタニガワカゲロウ			●				
65				シロタニガワカゲロウ		●	●						
66				タニガワカゲロウ属の一種			●						
67			ウエノヒラタカゲロウ			●							
68			ナミヒラタカゲロウ			●							
69			エルモンヒラタカゲロウ			●							
70			ユミモンヒラタカゲロウ			●							
71			ヒラタカゲロウ属の一種		●	●							
72			ヒメヒラタカゲロウ属の一種			●							
73	トンボ	イトトンボ	イトトンボ	アオモンイトトンボ属の一種			●						
74			カワトンボ	ミヤマカワトンボ			●						
75			ヤンマ	コシボソヤンマ			●						
76				ミルンヤンマ	●	●	●						
77				ヤンマ科の一種			●						
78			サナエトンボ	ミヤマサナエ			●						
79			クロサナエ			●							
80			ダビドサナエ			●							
81			ダビドサナエ属の一種			●							
82			オナガサナエ			●							
83			アオサナエ			●							
84			コオニヤンマ			●							
85			サナエトンボ科の一種			●							
86			オニヤンマ	オニヤンマ	●	●	●						
87			エフトンボ	コヤマトンボ			●						
88			トンボ	ショウジョウトンボ			●						
89			シオカラトンボ			●							

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-9(2) 現地調査における底生動物確認種(2/3)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
						第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
79	節足動物	昆虫	カワゲラ	オナシカワゲラ	フサオナシカワゲラ属の一種	●	●	●				
80					インドオナシカワゲラ属の一種		●					
81					オナシカワゲラ属の一種	●	●	●				
82				カワゲラ	エダオカワゲラ属の一種			●				
83					カミムカワゲラ			●				
-					カミムカワゲラ属の一種			●				
84					フタツメカワゲラ属の一種	●		●				
85					ヒメオオヤマカワゲラ			●				
-					オオヤマカワゲラ属の一種			●				
86					スズキウカワゲラ			●				
-					クラカワゲラ属の一種			●				
87				カメムシ	アミメカワゲラ			●				
88					アメンボ			●				
89					アメンボ	●		●				
90					ヤスマツアメンボ			●				
-					ヒメアメンボ属の一種			●				
91					シマアメンボ			●				
92					カタビロアメンボ			●				
93					ミズムシ (昆)			●				
94					コミズムシ属の一種		●					
-					ミズムシ科の一種			●				
95					コオイムシ			●			NT	NT
96				ヘビトンボ	ヘビトンボ			●				
97					ヘビトンボ		●	●				
98			トビケラ	シマトビケラ	コガタシマトビケラ			●				
99					ナミコガタシマトビケラ			●				
100					サトコガタシマトビケラ			●				
-					コガタシマトビケラ属の一種	●	●	●				
101					ミヤマシマトビケラ属の一種	●	●	●				
102					シロズシマトビケラ			●				
103					ギフシマトビケラ			●				
104					ウルマーシマトビケラ	●	●	●				
105					ナカハラシマトビケラ			●				
-					シマトビケラ属の一種			●				
106					イウトビケラ			●				
107				ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ			●				
108					チャバネヒゲナガカワトビケラ		●	●				
109				ヤマトビケラ	ヤマトビケラ属の一種			●				
110				カワリナガレトビケラ	ツメナガナガレトビケラ			●				
111				ヒメトビケラ	ヒメトビケラ属の一種			●				
112				ナガレトビケラ	ヒロアタマナガレトビケラ			●				
113					カウムラナガレトビケラ			●				
114					ムナグロナガレトビケラ		●	●				
115					トランスウィラナガレトビケラ			●				
116					ヤマナカナガレトビケラ			●				
-					ナガレトビケラ属の一種			●				
117					コエグリトビケラ			●				
118					イワコエグリトビケラ属の一種			●				
119				カクスイトビケラ	アメリカカクスイトビケラ		●	●				
120					ハナセマルツツビケラ			●				
121				アシエダトビケラ	コバントビケラ			●				
122					ニンギョウトビケラ			●				
123					カクツツトビケラ属の一種		●	●				
124					タテヒゲナガトビケラ属の一種			●				
125					ヒゲナガトビケラ属の一種			●				
126					アオヒゲナガトビケラ属の一種			●				
127					クサツミトビケラ属の一種			●				
128					セトトビケラ属の一種			●				
129				エグリトビケラ	ホタルトビケラ	●	●	●				
-					ホタルトビケラ属の一種			●				
130				マルバネトビケラ	マルバネトビケラ属の一種			●				
131					トウヨウグマガトビケラ			●				
132			チョウハエ	ツツガ	キオビミズメイガ			●				
133					ホソオビヒメガガンボ属の一種			●				
134					ウスバガガンボ属の一種			●				
135					ヒゲナガガガンボ属の一種			●				
136				ガガンボ	ミカドガガンボ属の一種		●	●				
137					ガガンボ属の一種	●	●	●				
138				ヌカカ	ヌカカ科の一種			●				
139					ケブカエリユスリカ属の一種	●		●				
140				ユスリカ	ハダカユスリカ属の一種			●				
141					ユスリカ属の一種	●		●				
142					トラフユスリカ属の一種			●				
143					ツヤユスリカ属の一種			●				
144					ヤマユスリカ属の一種			●				
145					ホソミユスリカ属の一種			●				
146					テンマクエリユスリカ属の一種			●				
147					セボリユスリカ属の一種			●				
148					フユユスリカ属の一種			●				
149					ボカシヌマユスリカ属の一種			●				
150					ツヤムネユスリカ属の一種			●				
151					トゲヤマユスリカ属の一種			●				
152					クビユスリカ			●				
153					モンヌマユスリカ属の一種			●				
154					アヤユスリカ属の一種			●				
155					エリユスリカ属の一種			●				
156					ニセケバネエリユスリカ属の一種			●				
157					カワリユスリカ属の一種			●				

審査会の指摘事項の対応 (6. 植物・動物・生態系 No.1)

表 8-9 (3) 現地調査における底生動物確認種 (3/3)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	事業期			重要種選定基準			
						第3期	第4期	第5期	I	II	III	IV
158	節足動物	昆虫	ハエ	ユスリカ	ハモンユスリカ属の一種	●		●				
159					カモヤマユスリカ			●				
-					サウユスリカ属の一種			●				
160					カユスリカ属の一種			●				
161					ナガレツヤユスリカ属の一種			●				
162					ウスギヌヒメユスリカ属の一種			●				
163					ヒメケバコユスリカ属の一種			●				
164					キザキユスリカ属の一種			●				
165					アシマダラユスリカ属の一種			●				
166					フサユキユスリカ属の一種			●				
167					カスリモンユスリカ属の一種			●				
168					ヒゲユスリカ属の一種			●				
169					ヌカユスリカ属の一種	●		●				
170					ニセデンマクエリユスリカ属の一種			●				
-					ユスリカ亜科の一種		●					
-					エリユスリカ亜科の一種	●	●					
-					モンユスリカ亜科の一種		●					
-					ユスリカ科の一種			●				
171				ブユ	ツノマユブユ属の一種			●				
172					アシマダラブユ属の一種		●	●				
173				ナガレアブ	クロモンナガレアブ			●				
174					ミヤマナガレアブ			●				
175					ハマダラナガレアブ			●				
176					コモンナガレアブ			●				
-					ヒメナガレアブ属の一種			●				
178				オドリバエ	オドリバエ科の一種			●				
179				ミギワバエ	ミギワバエ科の一種			●				
180			コウチュウ	ゲンゴロウ	モンキマメゲンゴロウ		●	●				
181					ヒメゲンゴロウ		●					
182				ガムシ	ゴマフガムシ亜科の一種		●					
183					マルガムシ		●	●				
184				ドロムシ	ムナビロツヤドロムシ			●				
185					ナガアシドロムシ属の一種			●				
186				ヒメドロムシ	ミゾドロムシ属の一種			●				
187					ケスジドロムシ			●			VU	DD
188					ツヤドロムシ			●				
-					ツヤドロムシ属の一種			●				
189				ヒラタドロムシ	クシヒゲマルヒラタドロムシ			●				
190					マルヒラタドロムシ			●				
191					ヒラタドロムシ			●				
192					マスタチビヒラタドロムシ			●				
193				ナガハナノミ	エダヒゲナガハナノミ属の一種			●				
194				ホタル	ゲンジボタル		●	●				NT
195				イネゾウムシ	イネミズゾウムシ			●				
-	4門	7綱	22目	79科	195種	23種	40種	187種	0種	0種	4種	3種

注 1) 目名、科名、種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査生物リスト」(令和 7 年 10 月、河川環境データベース)に準拠した。

注 2) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第 3 期 : 「(仮称) 産業廃棄物最終処分場増設事業 (第 3 期) 環境影響調査報告書」(平成 24 年 11 月、仙台環境開発株式会社)

第 4 期 : 「(仮称) 産業廃棄物最終処分場増設事業 (第 4 期) 自然環境影響調査報告書」(平成 29 年 2 月、仙台環境開発株式会社)

審査会の指摘事項の対応 (7. 景観 No.1)

8.11.2 予測

(1) 存在による影響（改変後の地形、工作物等の出現）

1) 予測内容

予測内容は、改変後の地形及び工作物等の出現による主要な眺望への影響とした。

2) 予測地域等

予測地域及び予測地点は、対象事業計画地周辺において、事業の実施により景観への影響が生じる恐れのある地域・地点とし、調査地域及び調査地点と同様とした。

3) 予測対象時期

予測対象時期は、景観への影響が一番大きくなる時期をとらえるため、埋立が完了した時点（令和32年）とした。

4) 予測方法

予測方法は、工事完了後のフォトモンタージュを作成し、眺望景観の変化を予測した。

5) 予測結果

眺望の変化の状況は表8.11-7に示すとおりである。

既に埋立が完了している第1期工区及び第2期工区では、法面緑化と植樹を実施している。法面緑化と植樹の状況は表8.11-8に示すとおりである。埋立が完了した区域から随時法面緑化を行い、早期緑化を図るとともに、埋立完了後の盛土部には植樹を行う計画である。

フォトモンタージュによる予測結果は、図8.11-2～図8.11-7に示すとおりである。フォトモンタージュは、展葉期及び落葉期の状況について作成した。

対象事業計画地は、自然的景観資源である“段丘崖に残された植生は貴重な自然的景観”である「落合・愛子・白沢広瀬川畔」の範囲に位置するが、対象事業計画地は段丘（上位面）にあり、“段丘崖”に直接的な影響は与えない。

審査会の指摘事項の対応 (7. 景観 No.1)

表 8.11-7 主要な眺望・周辺道路からの景観の変化の予測結果

地点番号	眺望地点	距離※	眺望の変化
No. 1	バス停 (青野木中)	約 70m	対象事業計画地の埋立地北東側がソーラーパネルの背後に視認される。 屋敷林と民家がみられる農村風景の背後に、残土置場としての盛土が見える人工的な景観から、植林された盛土が見える景観へ変化すると予測した。
No. 2	処分場正門前	約 30m	対象事業計画地の埋立地北側が既設処分場のフェンスや街路樹の背後に視認される。 中間処理施設が解体され、人工的な景観から植林された盛土がみえる景観へ変化すると予測した。
No. 3	フットサル場	約 530m	対象事業計画地の埋立地南側が既設処分場の埋立地上に視認される。 既設処分場の埋立地 (植林済) の奥に新たに植林された盛土が視認できる。景観を大きく阻害するものではないが、スカイラインに変化が生じるものと予測した。
No. 4	満穂センター (集会所)	約 1,070m	対象事業計画地の埋立地東側が既設処分場の埋立地 (植林済) や第2期浸出水処理施設の背後に視認される。 既設処分場の埋立地 (植林済) や第2期浸出水処理施設の奥に新たに植林された盛土が視認できるが、景観を大きく阻害するものではないことから、景観の変化は小さいものと予測した。
No. 5	宮城広瀬球場駐車場	約 1,640m	対象事業計画地の埋立地は、広瀬川沿いの樹林によって遮られて視認できない。 対象事業計画地は、広瀬川沿いの樹林によって遮られて視認できないことから、改変後の景観に変化はないものと予測した。
No. 6	愛子跨線橋	約 2,500m	対象事業計画地の埋立地の上部が丘陵地の樹林の背後に視認される。 丘陵部の樹林の奥に新たに植林された盛土が視認できるが、景観を大きく阻害するものではないことから、景観の変化は小さいものと予測した。

※ 対象事業計画地からの距離を示す。

表 8.11-8 第1期工区及び第2期工区における法面緑化と植樹の状況

	
第1工区(奥)と第2工区(手前)の植樹 (撮影：令和5年7月10日)	第1工区法面 (撮影：令和5年7月11日)

赤枠は準備書からの変更箇所

審査会の指摘事項の対応（ 8. 温室効果ガス No. 1 ）

廃棄物の埋立に伴う温室効果ガス排出量の予測結果
< 準好気性埋立構造の最終処分場の場合 >

廃棄物の種類	年間埋立 計画量 (t)	排出係数 (tCH ₄ /t)	室効果ガス 排出量 (tCH ₄)	室効果ガス 排出量 (tCO ₂)
下水汚泥	3,000	0.067	201.0	5,628.0
製造業に係る有機性の汚泥	31,800	0.075	2,385.0	66,780.0
紙くず	6,200	0.068	421.6	11,804.8
木くず	9,000	0.075	675.0	18,900.0
繊維くず	10	0.075	0.8	21.0
計				103,133.8

< 嫌気性埋立構造の最終処分場の場合 >

廃棄物の種類	年間埋立 計画量 (t)	排出係数 (tCH ₄ /t)	室効果ガス 排出量 (tCH ₄)	室効果ガス 排出量 (tCO ₂)
下水汚泥	3,000	0.13	390.0	10,920.0
製造業に係る有機性の汚泥	31,800	0.15	4,770.0	133,560.0
紙くず	6,200	0.14	868.0	24,304.0
木くず	9,000	0.15	1,350.0	37,800.0
繊維くず	10	0.15	1.5	42.0
計				206,626.0

その他 準備書から変更する点

審査会の指摘事項の対応 (1. 事業計画、全般的事項 No. 8)

表1-24 地下水の検査項目

項目		排水基準	検定方法
1	アルキル水銀	検出されないこと。	平成 9 年環 境庁告示第 10 号
2	総水銀	0.0005 mg/L 以下	
3	カドミウム	0.003 mg/L 以下	
4	鉛	0.01 mg/L 以下	
5	六価クロム	0.05 (R8.4.1 から mg/L 以下 0.02)	
6	砒素	0.01 mg/L 以下	
7	全シアン	検出されないこと。	
8	ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	
9	トリクロロエチレン	0.01 mg/L 以下	
10	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L 以下	
11	ジクロロメタン	0.02 mg/L 以下	
12	四塩化炭素	0.002 mg/L 以下	
13	1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L 以下	
14	1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	
15	1,2-ジクロロエチレン (1 リットルにつきシス-1,2-ジクロロエチレン 及びトランス-1,2-ジクロロエチレンの合計量)	0.04 mg/L 以下	
16	1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L 以下	
17	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L 以下	
18	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L 以下	
19	チウラム	0.006 mg/L 以下	
20	シマジン	0.003 mg/L 以下	
21	チオベンカルブ	0.02 mg/L 以下	
22	ベンゼン	0.01 mg/L 以下	
23	セレン	0.01 mg/L 以下	
24	1,4-ジオキサン	0.05 mg/L 以下	
25	塩化ビニルモノマー	0.002 mg/L 以下	
備考 「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量下限を下回ることをいう。			

出典：「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」（昭和52年総理府・厚生省令第1号）

赤字は準備書からの変更箇所

審査会の指摘事項の対応 (1. 事業計画、全般的事項 No.8,9)

表1-25 放流水の検査項目

項目		排水基準	検定方法
1	水素イオン濃度 (水素指数)	5.8～8.6	昭和 49 年環境庁告示第 64 号
2	BOD (生物化学的酸素要求量)	7 ※1 mg/L 以下	
3	COD (化学的酸素要求量) 【適用外】	20 ※2 mg/L 以下	
4	浮遊物質 (SS)	40 ※2 mg/L 以下	
5	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	鉱油類含有量 5 mg/L 以下 動植物油脂類含有量 30 mg/L 以下	
6	外観	放流先の水を著しく変化させるような色及び濁りのないこと ※1	JIS K 0102 (官能法)
7	臭気	放流先の水を著しく臭気を帯びさせるような排水でないこと ※1	水道法に基づく水質基準に関する省令 (平成 4 年厚生省令第 69 号)
8	カドミウム及びその化合物	0.03 mg/L 以下	昭和 49 年環境庁告示第 64 号
9	シアン化合物	1 mg/L 以下	
10	有機燐化合物 (パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及び EPN に限る。)	1 mg/L 以下	
11	鉛及びその化合物	0.1 mg/L 以下	
12	六価クロム化合物	0.5 (R8.4.1 から 0.2) mg/L 以下	
13	砒素及びその化合物	0.1 mg/L 以下	
14	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005 mg/L 以下	
15	アルキル水銀化合物	検出されないこと	
16	ポリ塩化ビフェニル	0.003 mg/L 以下	
17	トリクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	
18	テトラクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	
19	ジクロロメタン	0.2 mg/L 以下	
20	四塩化炭素	0.02 mg/L 以下	
21	1,2-ジクロロエタン	0.04 mg/L 以下	
22	1,1-ジクロロエチレン	1 mg/L 以下	
23	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 mg/L 以下	
24	1,1,1-トリクロロエタン	3 mg/L 以下	
25	1,1,2-トリクロロエタン	0.06 mg/L 以下	
26	1,3-ジクロロプロペン	0.02 mg/L 以下	
27	チウラム	0.06 mg/L 以下	
28	シマジン	0.03 mg/L 以下	
29	チオベンカルブ	0.2 mg/L 以下	
30	ベンゼン	0.1 mg/L 以下	
31	セレン及びその化合物	0.1 mg/L 以下	
32	フェノール類含有量	5 mg/L 以下	
33	銅含有量	3 mg/L 以下	
34	亜鉛含有量	2 mg/L 以下	
35	溶解性鉄含有量	10 mg/L 以下	
36	溶解性マンガン含有量	10 mg/L 以下	
37	クロム含有量	2 mg/L 以下	
38	ふっ素含有量	15 mg/L 以下	
39	ほう素含有量	50 mg/L 以下	平成 13 年環境庁告示第 37 号
40	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	200 mg/L 以下	昭和 49 年環境庁告示第 64 号
41	窒素化合物 【適用外】	60 mg/L 以下	
42	大腸菌数	800 CFU/mL 以下	
43	燐含有量 【適用外】	8 mg/L 以下	昭和 46 年環境庁告示第 59 号 付表 7 に定める方法
44	1,4-ジオキサン	0.5 mg/L 以下	
45	ダイオキシン類	10 pg/L 以下	JIS-K-0312
注 1. 生物化学的酸素要求量は、海域及び湖沼以外の公共用水域に放流する場合に限り適用 2. 化学的酸素要求量、窒素化合物、燐含有量は、海域及び湖沼に放流する場合に限り適用 3. ふっ素含有量は、海域以外の公共用水域に排出されるものは、当分の間、適用するものとする 4. ほう素含有量は、海域以外の公共用水域に排出されるものは、当分の間、適用するものとする 5. 大腸菌数、窒素化合物、燐含有量の排出基準値は日平均値 6. アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物については、当分の間、1ℓにつき、アンモニア性窒素に 0.4 を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量 7. 広瀬川の清流を守る条例により、TOC は、BOD (生物化学的酸素要求量) と読み替えるものとする			

※1 広瀬川の清流を守る条例に基づく「工場等排水許可通知書」(仙台市(H24 環境対)指令第 11 号 平成 25 年 3 月 25 日)による規制値等を示す

※2 自主規制値を示す

出典: 「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」(昭和52年総理府・厚生省令第1号)

赤字は準備書からの変更箇所

審査会の指摘事項の対応 (4. 水質 No. 4)

表6. 1-62 水質測定結果(第2期排水処理施設放流水：令和元年度～令和5年度)

項目 (単位)	R1. 11. 1	R2. 11. 6	R3. 11. 10	R4. 11. 4	R5. 11. 8	排水基準
アルキル水銀化合物 (mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005以下
カドミウム及びその化合物 (mg/L)	<0.001	<0.001	0.001	0.001	<0.001	0.03以下
鉛及びその化合物 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1以下
有機燐化合物 (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
六価クロム化合物 (mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5以下
砒素及びその化合物 (mg/L)	0.005	0.005	0.010	0.009	0.012	0.1以下
シアン化合物 (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003以下
トリクロロエチレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1以下
テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.1以下
ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2以下
四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02以下
1, 2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.04以下
1, 1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	1以下
シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.4以下
1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	3以下
1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06以下
1, 3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02以下
チウラム (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06以下
シマジン (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.03以下
チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2以下
ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1以下
セレン及びその化合物 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.036	<0.005	0.1以下
1, 4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005	0.010	0.039	0.026	0.5以下
ほう素及びその化合物 (mg/L)	22	31	30	34	43	50以下
ふっ素及びその化合物 (mg/L)	0.49	0.92	0.75	1.0	1.4	15以下
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	42	83.4	76.3	108.5	99.3	200以下
水素イオン濃度	7.2	7.1	7.4	7.1	7.7	5.8以上8.6以下
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	1.3	1.9	2.9	3.3	4.0	7以下
浮遊物質量 (mg/L)	<1	2	1	1	<1	40以下
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類) (mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	5以下
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類) (mg/L)	<0.5	<0.5	0.9	<0.5	<0.5	30以下
フェノール類含有量 (mg/L)	0.06	0.10	0.03	<0.1	<0.1	5以下
銅含有量 (mg/L)	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.03	3以下
亜鉛含有量 (mg/L)	<0.02	0.02	0.03	0.03	0.04	2以下
溶解性鉄含有量 (mg/L)	<0.02	0.05	0.23	0.07	0.12	10以下
溶解性マンガン含有量 (mg/L)	1.3	2.6	3.4	4.9	1.0	10以下
クロム含有量 (mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	2以下
大腸菌群数 (平板法) (個/cm ³)	0	0	0	0	0	3,000以下
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.0018	0	0	0.00016	0.000021	10以下

注1) “<” は未満を表す。

注2) 「検出されないこと」とは、測定方法の定量限界を下回ることをいう。

注3) ダイオキシン類の採取日：令和元年12月6日、令和2年12月4日、令和3年12月6日、令和4年12月8日、令和5年12月1日。

注4) 排水基準は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」（昭和52年総理府・厚生省令第1号）に自主規制値等を加味した値を示す（表1-25参照）。大腸菌群数はR7. 4. 1から大腸菌数へ変更となる。

出典：仙台環境開発株式会社資料

赤字は準備書からの変更箇所

審査会の指摘事項の対応 (4. 水質 No. 4)

表6. 1-63 水質測定結果(第3期排水処理施設放流水：令和元年度～令和5年度)

項目 (単位)	R1. 11. 1	R2. 11. 6	R3. 11. 10	R4. 11. 4	R5. 11. 8	排水基準
アルキル水銀化合物 (mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物 (mg/L)	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	0. 005以下
カドミウム及びその化合物 (mg/L)	0. 001	0. 001	0. 001	0. 001	<0. 001	0. 03以下
鉛及びその化合物 (mg/L)	<0. 005	<0. 005	<0. 005	<0. 005	<0. 005	0. 1以下
有機燐化合物 (mg/L)	<0. 1	<0. 1	<0. 1	<0. 1	<0. 1	1以下
六価クロム化合物 (mg/L)	<0. 05	<0. 05	<0. 05	<0. 05	<0. 05	0. 5以下
砒素及びその化合物 (mg/L)	0. 006	0. 006	0. 013	0. 008	0. 013	0. 1以下
シアン化合物 (mg/L)	<0. 1	<0. 1	<0. 1	<0. 1	<0. 1	1以下
ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	0. 003以下
トリクロロエチレン (mg/L)	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	0. 1以下
テトラクロロエチレン (mg/L)	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	0. 1以下
ジクロロメタン (mg/L)	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	0. 2以下
四塩化炭素 (mg/L)	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	0. 02以下
1, 2-ジクロロエタン (mg/L)	<0. 0004	<0. 0004	<0. 0004	<0. 0004	<0. 0004	0. 04以下
1, 1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	1以下
シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 004	0. 4以下
1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/L)	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	3以下
1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/L)	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	0. 06以下
1, 3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	0. 02以下
チウラム (mg/L)	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	0. 06以下
シマジン (mg/L)	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	0. 03以下
チオベンカルブ (mg/L)	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002	0. 2以下
ベンゼン (mg/L)	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	0. 1以下
セレン及びその化合物 (mg/L)	<0. 005	<0. 005	<0. 005	0. 035	<0. 005	0. 1以下
1, 4-ジオキサン (mg/L)	0. 056	0. 059	0. 010	0. 040	0. 027	0. 5以下
ほう素及びその化合物 (mg/L)	18	21	29	31	43	50以下
ふっ素及びその化合物 (mg/L)	0. 85	0. 68	0. 83	1. 2	1. 1	15以下
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	28	48. 5	74. 1	77. 1	83. 4	200以下
水素イオン濃度	7. 0	6. 7	7. 7	7. 3	7. 5	5. 8以上8. 6以下
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	1. 5	2. 8	3. 5	2. 2	1. 7	7以下
浮遊物質 (mg/L)	<1	1	1	3	1	40以下
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類) (mg/L)	<0. 5	<0. 5	<0. 5	<0. 5	<0. 5	5以下
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類) (mg/L)	<0. 5	<0. 5	1. 7	<0. 5	0. 6	30以下
フェノール類含有量 (mg/L)	<0. 02	0. 06	0. 02	<0. 1	<0. 1	5以下
銅含有量 (mg/L)	<0. 03	<0. 03	0. 04	0. 03	0. 04	3以下
亜鉛含有量 (mg/L)	<0. 02	0. 07	0. 04	<0. 02	0. 06	2以下
溶解性鉄含有量 (mg/L)	0. 08	0. 06	0. 12	0. 13	0. 09	10以下
溶解性マンガン含有量 (mg/L)	2. 8	0. 73	3. 2	3. 8	3. 9	10以下
クロム含有量 (mg/L)	<0. 02	<0. 02	<0. 02	<0. 02	<0. 02	2以下
大腸菌群数 (平板法) (個/cm ³)	0	0	0	0	0	3, 000以下
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0. 0021	0. 0032	0. 000024	0. 000099	0. 000090	10以下

注1) “<”は未満を表す。

注2) 「検出されないこと」とは、測定方法の定量限界を下回ることをいう。

注3) ダイオキシン類の採取日：令和元年12月6日、令和2年12月4日、令和3年12月6日、令和4年12月8日、令和5年12月1日。

注4) 排水基準は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」（昭和52年総理府・厚生省令第1号）に自主規制値等を加味した値を示す（表1-25参照）。大腸菌群数はR7. 4. 1から大腸菌数へ変更となる。

出典：仙台環境開発株式会社資料

赤字は準備書からの変更箇所

審査会の指摘事項の対応 (4. 水質 No. 5)

イ 排水基準

水質汚濁防止法、宮城県または仙台市の条例により、事業場等の排水が規制されている、排水基準は表6.2-31及び表6.2-32に示すとおりである。廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく産業廃棄物管理型最終処分場からの排水基準は表6.2-33に示すとおりである。

また、下水道法に規定される特定事業場から公共下水道へ排出される排水は、表6.2-34に示すとおり、下水道法及び仙台市下水道条例により排水基準が定められている。

仙台市では、市民共有の財産である美しい広瀬川の清流を保全し、次代へ引き継いでゆくために「広瀬川の清流を守る条例」（昭和49年制定、仙台市）を制定し、広瀬川全流域の水質を守るため、水質保全区域を指定しており、当該区域内の事業所等から広瀬川へ排出される排水について規制基準を定めている。排水の規制基準は表6.2-35、水質保全区域は図6.2-19に示すとおりである。対象事業計画地は水質保全区域に位置する。

審査会の指摘事項の対応 (4. 水質 No.5)

表6. 2-33 排水基準 (産業廃棄物管理型最終処分場)

項目		排水基準	検定方法
1	水素イオン濃度 (水素指数)	5.8～8.6	昭和 49 年環境庁告示第 64 号
2	BOD (生物化学的酸素要求量)	60 mg/L 以下	
3	COD (化学的酸素要求量) 【適用外】	90 mg/L 以下	
4	浮遊物質 (SS)	60 mg/L 以下	
5	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	鉱油類含有量 5 mg/L 以下	
		動植物油脂類含有量 30 mg/L 以下	
8	カドミウム及びその化合物	0.03 mg/L 以下	
9	シアン化合物	1 mg/L 以下	
10	有機燐化合物 (パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及び EPN に限る。)	1 mg/L 以下	
11	鉛及びその化合物	0.1 mg/L 以下	
12	六価クロム化合物	0.5 (R8.4.1 から 0.2) mg/L 以下	
13	砒素及びその化合物	0.1 mg/L 以下	
14	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005 mg/L 以下	
15	アルキル水銀化合物	検出されないこと	
16	ポリ塩化ビフェニル	0.003 mg/L 以下	
17	トリクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	
18	テトラクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	
19	ジクロロメタン	0.2 mg/L 以下	
20	四塩化炭素	0.02 mg/L 以下	
21	1,2-ジクロロエタン	0.04 mg/L 以下	
22	1,1-ジクロロエチレン	1 mg/L 以下	
23	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 mg/L 以下	
24	1,1,1-トリクロロエタン	3 mg/L 以下	
25	1,1,2-トリクロロエタン	0.06 mg/L 以下	
26	1,3-ジクロロプロペン	0.02 mg/L 以下	
27	チウラム	0.06 mg/L 以下	
28	シマジン	0.03 mg/L 以下	
29	チオベンカルブ	0.2 mg/L 以下	
30	ベンゼン	0.1 mg/L 以下	
31	セレン及びその化合物	0.1 mg/L 以下	
32	フェノール類含有量	5 mg/L 以下	
33	銅含有量	3 mg/L 以下	
34	亜鉛含有量	2 mg/L 以下	
35	溶解性鉄含有量	10 mg/L 以下	
36	溶解性マンガン含有量	10 mg/L 以下	
37	クロム含有量	2 mg/L 以下	
38	ふっ素含有量	15 mg/L 以下	平成 13 年環境庁告示第 37 号
39	ほう素含有量	50 mg/L 以下	
40	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	200 mg/L 以下	
41	窒素化合物 【適用外】	60 mg/L 以下	昭和 49 年環境庁告示第 64 号
42	大腸菌数	800 CFU/mL 以下	
43	磷含有量 【適用外】	8 mg/L 以下	
44	1,4-ジオキサン	0.5 mg/L 以下	昭和 46 年環境庁告示第 59 号 付表 7 に定める方法
45	ダイオキシン類	10 pg/L 以下	JIS-K-0312

注 1. 生物化学的酸素要求量は、海域及び湖沼以外の公共用水域に放流する場合に限り適用
2. 化学的酸素要求量、窒素化合物、磷含有量は、海域及び湖沼に放流する場合に限り適用
3. ふっ素含有量は、海域以外の公共用水域に排出されるものは、当分の間、適用するものとする
4. ほう素含有量は、海域以外の公共用水域に排出されるものは、当分の間、適用するものとする
5. 大腸菌数、窒素化合物、磷含有量の排出基準値は日平均値
6. アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物については、当分の間、1ℓにつき、アンモニア性窒素に 0.4 を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量

出典：「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」(昭和52年総理府・厚生省令第1号)

審査会の指摘事項の対応 (4. 水質 No.5)

6) 地下水汚染

地下水の水質汚濁に係る環境基準として、人の健康の保護に関する環境基準は、表6. 2-36に示すとおりである。廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく産業廃棄物管理型最終処分場に係る地下水の検査項目は表6. 2-37に示すとおりである。

表6. 2-36 地下水の水質汚濁に係る環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003mg/L 以下	1, 1, 1-トリクロロエタン	1 mg/L 以下
全シアン	検出されないこと	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006 mg/L 以下
鉛	0.01 mg/L 以下	トリクロロエチレン	0.01 mg/L 以下
六価クロム	0.02 mg/L 以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L 以下
砒素	0.01 mg/L 以下	1, 3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L 以下
総水銀	0.0005 mg/L 以下	チウラム	0.006 mg/L 以下
アルキル水銀	検出されないこと	シマジン	0.003 mg/L 以下
P C B	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02 mg/L 以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L 以下	ベンゼン	0.01 mg/L 以下
四塩化炭素	0.002 mg/L 以下	セレン	0.01 mg/L 以下
クロロエチレン(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	0.002 mg/L 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L 以下
1, 2-ジクロロエタン	0.004 mg/L 以下	ふっ素	0.8 mg/L 以下
1, 1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	ほう素	1 mg/L 以下
1, 2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L 以下	1, 4-ジオキサン	0.05 mg/L 以下

注1) 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。

注2) 「検出されないこと」とは、規定されている測定方法の定量限界を下回することをいう。

出典：「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」

(平成9年3月13日 環境省告示第10号、最終改正 令和7年3月31日環境省告示第41号)

審査会の指摘事項の対応 (4. 水質 No. 5)

表6. 2-37 地下水の検査項目 (産業廃棄物管理型最終処分場)

項目		排水基準		検定方法
1	アルキル水銀	検出されないこと。		平成 9 年環 境庁告示第 10 号
2	総水銀	0. 0005	mg/L 以下	
3	カドミウム	0. 003	mg/L 以下	
4	鉛	0. 01	mg/L 以下	
5	六価クロム	0. 05 (R8. 4. 1 から 0. 02)	mg/L 以下	
6	砒素	0. 01	mg/L 以下	
7	全シアン	検出されないこと。		
8	ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。		
9	トリクロロエチレン	0. 01	mg/L 以下	
10	テトラクロロエチレン	0. 01	mg/L 以下	
11	ジクロロメタン	0. 02	mg/L 以下	
12	四塩化炭素	0. 002	mg/L 以下	
13	1, 2-ジクロロエタン	0. 004	mg/L 以下	
14	1, 1-ジクロロエチレン	0. 1	mg/L 以下	
15	1, 2-ジクロロエチレン (1 リットルにつきシス-1, 2-ジクロロエチレン 及びトランス-1, 2-ジクロロエチレンの合計量)	0. 04	mg/L 以下	
16	1, 1, 1-トリクロロエタン	1	mg/L 以下	
17	1, 1, 2-トリクロロエタン	0. 006	mg/L 以下	
18	1, 3-ジクロロプロペン	0. 002	mg/L 以下	
19	チウラム	0. 006	mg/L 以下	
20	シマジン	0. 003	mg/L 以下	
21	チオベンカルブ	0. 02	mg/L 以下	
22	ベンゼン	0. 01	mg/L 以下	
23	セレン	0. 01	mg/L 以下	
24	1, 4-ジオキサン	0. 05	mg/L 以下	
25	塩化ビニルモノマー	0. 002	mg/L 以下	
備考 「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量下限を下回ることをいう。				

出典：「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」(昭和52年総理府・厚生省令第1号)

7) 地盤沈下

宮城県では「工業用水法」及び「宮城県公害防止条例」に基づき地下水採取の規制が行われている。

対象事業計画地は地下水採取規制地域に指定されていない。

赤枠は準備書からの変更箇所